



平成 26 年度
公立大学法人 福岡県立大学
アニュアルレポート

平成 27 年 4 月
公立大学法人
福岡県立大学

目次

理事長・学長メッセージ	1
I. 大学基本情報	2
1. 大学憲章、教育研究上の目的	2
2. キャンパス所在地	5
3. 組織図	6
4. 役員等一覧（理事会・経営協議会・教育研究協議会）	7
5. 教員役職者の任期一覧	8
II. 教職員	9
1. 教員	9
(1) 教員組織	9
(2) 教員の性別構成	9
(3) 教員の年齢構成	9
(4) 任期付教員数	10
(5) 学部	10
(6) 研究科	11
2. 事務職員	12
(1) 事務職員数（組織、補職）	12
(2) 事務職員の採用区分	12
(3) 事務職員の性別構成	12
(4) 事務職員の年齢構成	12
III. 学生	13
1. 学生数	13
(1) 学生定数、学年定員、在籍学生数（県内県外、男女比）	13
(2) 学部卒業生数（4年間で卒業した学生）	14
(3) 大学院修了生数（2年間又は3年間（長期履修）で卒業した学生）	14
2. 学生の異動（退学・除籍・休学・留年）	15
(1) 休学・退学・除籍数	15
(2) 留年数	16
IV. 教育	17
1. 学部	17
(1) 開設科目及び単位数	17
(2) 卒業必要科目及び単位数	29
(3) 両学部で学ぶ専門的連携科目	29
(4) 講義・演習・実習の開講科目数	30
2. 大学院	31

(1) 教育課程及び履修基準	31
(2) 講義・演習・実習の開講科目数	34
3. 学生の単位修得状況	34
(1) 成績評価及び単位認定（学部・研究科）	34
(2) 学部単位修得状況（学科ごとの成績評価と GPA 平均値）	35
(3) 大学院単位修得状況（成績評価）	36
4. 教職免許状取得者数（高校公民・中学社会・幼稚園教諭・養護教諭）	36
5. 保育士資格取得者数	36
6. スクールソーシャルワーク教育課程修了者数	36
7. 社会福祉士・精神保健福祉士 国家試験合格者数	37
8. 看護師・保健師・助産師 国家試験合格者数	37
9. 社会調査士資格取得者数	38
10. 上級情報処理士資格取得者数	38
11. 認定心理士資格取得者数	38
12. 臨床心理士資格取得者数	38
13. がん看護専門看護師資格取得者数	38
14. 精神看護専門看護師資格取得者数	38
V. 教育の質の向上及び改善の取組	39
1. FD 活動（学部・研究科）	39
2. 教員個人業績評価結果	39
(1) 趣旨	39
(2) 評価の対象分野・ウエイト等	39
(3) 教員個人業績評価	40
3. 授業評価アンケート	40
VI. 入試	43
1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	43
(1) 学部別入学者受入方針	43
(2) 研究科別入学者受入方針	44
2. 入学者選抜方法	45
(1) 学部別入学試験種別と試験科目	45
(2) 研究科別入試選抜試験科目	48
3. 入試実績	49
(1) 2015（平成 27）年度 学部入学試験状況（区分別・志願者数・受験者数・合格者数・入学者数・志願倍率・実質倍率・定員充足率）	49
(2) 2015（平成 27）年度 学部出身地別入学者数	50
(3) 2015（平成 27）年度 大学院入学試験状況（志願者数・受験者数・合格者数・入学者数・受験倍率・定員充足率）	50

4. 入試広報	50
VII. 学生支援	51
1. 学生に対する経済面の援助	51
(1) 奨学金受給実績	51
(2) 授業料減免実績	51
(3) 授業料分割納付実績	51
(4) 学生寮の整備状況及び利用実績	51
2. 学生に対する生活支援（生活、健康、就職等進路、各種ハラスメント等）	51
(1) 保健室利用実績	51
(2) 学生相談室利用実績	52
(3) GPA に基づいた学習支援対象者数	52
(4) 課外・サークル活動概要	52
(5) キャリアサポートセンター利用人数実績	54
(6) 就業力向上支援室活動概要	55
(7) インターンシップ参加者数及び派遣企業・団体数	55
(8) 支援を必要とする学生数	56
(9) 留学生ビジット状況	56
(10) 留学生支援事業実施状況	56
(11) 社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験の受験対策実施状況	56
(12) 看護師・保健師国家試験の受験対策実施状況	56
(13) 公務員講座実施状況	57
(14) 就職対策講座実施状況	57
VIII. 施設・設備	57
1. 講義室等の設置状況	57
2. 施設・設備のバリアフリー化状況	57
3. 自主的な学習活動が可能な施設	58
4. 自由閲覧室利用状況（利用者数）	58
5. ICT 環境（情報処理センター）	58
(1) 情報処理学習施設	58
(2) 無線 LAN アクセスポイント	58
6. 図書館	59
(1) 施設・職員、開館時間	59
(2) 貸出条件	59
(3) 蔵書数	60
(4) 入館者状況	60
(5) 貸出状況（学内・学外者）	60
7. 学生団体が課外活動に利用する施設の整備状況	60

サークル部屋・学生会館	60
IX. 就職.....	61
1. 卒業後の状況	61
(1) 学科別就職率及び進学、就職希望者の就職率	61
(2) 学科別所在地別就職先一覧.....	61
(3) 学科別産業別就職先一覧	62
(4) 大学院課程修了生専攻別就職率及び進学、就職希望者の就職率.....	62
(5) 大学院課程修了生専攻別産業別就職先一覧.....	62
X. 研究.....	63
1. 研究成果の発信.....	63
(1) 紀要等.....	63
(2) 附属研究所業務実績報告書等	63
(3) その他.....	63
2. 研究奨励交付金決定一覧.....	64
3. 外部資金等の獲得実績（平成 26 年度受託研究等事業名）一覧	64
4. 大学間連携共同教育推進事業	65
5. 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業.....	66
6. 科学研究費補助金応募・獲得状況及び外部研究費受入額（各学部）	69
7. 査読付学術書掲載論文数及び学会発表等（各学部）	71
8. 学術賞等の受賞状況.....	71
9. 受賞論文・国際学会招待研究等一覧.....	71
10. 国際学会招待研究等一覧.....	71
11. 特許出願状況	71
XI. 国際交流.....	72
1. 学部・学年別・国籍別留学生数.....	72
2. 留学生の受入・派遣.....	72
(1) 交換留学（受入・派遣）	72
(2) 語学研修実績	72
(3) 留学における単位認定	72
3. 学術交流協定等締結校一覧.....	72
XII. 社会貢献.....	73
1. 公開講座等の実施状況	73
(1) 公開講座実施状況	73
(2) 科目等履修生、聴講生、研究生の受入状況.....	73
(3) 出前講義の実施状況.....	73
2. 地域貢献活動	74
(1) 生涯福祉研究センター活動概要.....	74

(2)	ヘルスプロモーション実践研究センター活動概要	75
(3)	不登校・ひきこもりサポートセンター活動概要	76
(4)	社会貢献・ボランティア支援センター活動概要	77
(5)	看護実践教育センター活動概要	77
(6)	心理教育相談室実績	77
(7)	教員免許更新事業	78
3.	学外講義・講演	78
4.	審議会・委員会等への参画状況	78
XIII.	財務	79
1.	資産と負債の状況	79
2.	土地と建物の状況	79
3.	自己収入の状況	79
4.	外部研究資金の獲得状況	80
5.	収支状況	80
6.	教育研究経費の状況	80
<付録>	81
1.	平成 26 年度における主な取組	81
2.	沿革	82
3.	歴代学長及び名誉教授一覧	84
4.	学年歴	85
5.	授業時間割（学部・研究科）	87

理事長・学長メッセージ

公立大学法人 福岡県立大学
理事長・学長 柴田 洋三郎

近年の大学改革の一環として、大学の教育研究社会貢献活動の公表義務化が促進されてきました。本学の教育研究機関としての根拠法令である学校教育法第109条には、「大学は、その教育研究水準の向上に資するため、文部科学大臣の定める所により、当該大学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。」と自己点検評価活動の公表を定め、その第二項では認証評価機関による第三者評価を受けることが求められています。更に重ねて、同113条には、「大学は、教育研究の成果の普及及び活用の促進に資するため、その教育研究活動の状況を公表するものとする」とされ、平成23年これを受けた学校教育法施行規則改正により、大学が公表すべき教育研究活動等の情報内容が9項目にわたり具体的に周知方法を含めて明示されています。

福岡県立大学は平成18年に法人化され、県の法人評価委員会の年度評価を受審することとなりました。公立大学法人の特例として地方独立行政法人法第79条には、「評価委員会が公立大学法人について、・・・評価を行うに当たっては、学校教育法第109条第二項に規定する認証評価機関の教育及び研究の状況の評価を踏まえることとする。」とあります。即ち、現状の大学における評価活動としては3種類あり、自己点検評価による大学情報を公表するとともに、毎年度ごとに業務実績報告を作成して法人評価をうけ、さらに7年間のうちに公的な認証評価機関による機関認証評価を受審して、その評価内容を法人の中期目標期間評価の資料とする事が求められています。

本学では法人化以降、年度ごとに業務実績報告書を作成し、県評価委員会に提出して法人評価を受け、教育研究業務運営の改善、改革を進めてきましたが、幸いにも毎年高い評価を得ております。また独立行政法人大学評価学位授与機構の機関認証評価を平成22年に受審し、審査を受けた大学の中でも高い評価を得ることができました。これら各種外部評価受審の基礎資料となるのが、自己点検評価活動により集積された大学情報であり、本学の教員のさまざまな活動の詳細を記載した、「自己点検・評価報告書」を「教育・研究・社会貢献活動一覧」として毎年刊行してきました。

平成25年度より、これらの評価実施体制の基盤となる大学情報の基礎データを、「アニュアルレポート」として集積し公表することとなりました。本学のアニュアルレポートの企画から資料収集、編纂にあたってこられた、古橋啓介前教員理事、石崎龍二現教員理事をはじめ、この間に多大なご尽力いただいた関係教職員各位に、心より感謝申し上げます。

今後本レポートが有効に活用されて、本学の教育・研究・社会貢献活動の更なる活性化に資するとともに、これが基となってより実質的な恒常的「内部質保証システム」が構築されることを願っています。

I. 大学基本情報

1. 大学憲章、教育研究上の目的

福岡県立大学憲章

福岡県立大学は、地域に根ざし、地域とともに発展する公立大学です。福岡県立大学は、文化の向上、保健・福祉の増進及び地域の発展に寄与する、真理探究の精神と豊かな創造性を身につけた人材の育成にかかる高等教育を推進するため、その構成員である学生、教員、職員が一体となって目指す行動の指針をここに定めます。

(人間性の原則)

福岡県立大学は、人間性に対する深い理解とたゆまぬ向上を志向する人材を育成するため、個人の尊重を中核とした基本的人権の確保、個人の人格および能力の全人的な発達の促進、社会を構築する市民として必要な教養及び倫理の涵養に努めます。また福岡県立大学は、主体的な学びを促進するとともに、そのために必要な環境を提供します。

(地域性の原則)

福岡県立大学は、地域性に対する深い理解を有する人材を育成するため、地域の方々との連携、地域社会における問題の解決及び地域の発展を図る活動に取り組みます。このような活動を行うことで、地域の方々との連携によりその成果を地域に還元する「知の拠点」としての機能を果たします。また福岡県立大学は、構成員の地域活動に対する自発的な参加を促進します。

(専門性の原則)

福岡県立大学は、専門性に対する深い理解を有する人材を育成するため、専門教育の基盤となる研究活動を積極的に行います。教育及び研究においては、学問の自由および自律性を尊重するとともに、新たな知の発展に向けられた自由な創造性・独創性への挑戦を支援します。また福岡県立大学は、専門的職業人として必要な知識、技能及び職業倫理の涵養に努めます。

(多様性の原則)

福岡県立大学は、多様性に対する深い理解を有する人材を育成するため、思想・信条・人種・性別・国籍・民族を含むあらゆる個人および集団の多様性を尊重します。また福岡県立大学は、国際社会における個人及び集団間の理解及び寛容の精神を促進し、持続可能な社会の実現に寄与します。

(一体性の原則)

福岡県立大学は、構成員が一体となって、人間性の原則、地域性の原則、専門性の原則、多様性の原則の実現を図ります。この実現を図るため、福岡県立大学は、構成員の地位及び教育研究組織の自律性を尊重するとともに、教育研究環境の整備に努めます。

教育研究上の目的

【学部】

福岡県立大学は、教育基本法（昭和 22 年法律第 25 号）及び学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）に基づき、広く知識を授け、実践を重視した専門の学芸を教育研究して、真理探究の精神と豊かな創造性を身につけた人材を育成し、もって文化の向上、保健・福祉の増進及び地域の発展に寄与することを目的とする。

学 部	目 的	
人間社会学部	人間と社会に関する諸科学を学ぶことによって、人間と社会とを総合的に理解し、他の専門職と協働して問題解決に取り組むことのできる心豊かな人材を養成することを目的とする。	
	学 科	目 的
	公共社会学科	現在社会の多様な課題に対応するため、地域社会と国際共生に焦点をあて、公共性に根ざした社会問題解決能力に秀でた人材育成を図ることを目的とする。
	社会福祉学科	複雑・多様化している生活問題（福祉問題）を解決するための科学的知識及び実践力を有する社会福祉の人材を養成することを目的とする。
	人間形成学科	生涯発達の視点に立ち、乳幼児期から高齢期にいたる人間の形成過程と、その諸問題に関する総合的な研究・教育を行い、教育的・心理臨床的な援助などに携わる専門的な人材を育成することを目的とする。
看護学部	看護学科	幅広い教養と豊かな人間性を備え、看護の専門職としての確かな判断力と実践能力を身につけ、他の専門職と協働し、健康上の課題に主体的・創造的に対応できる人材を育成することを目的とする。

【大学院】

福岡県立大学大学院（以下「本学大学院」という。）は、広い視野に立って専攻分野に関する専門的学術を教育研究し、学術文化の進展に寄与するとともに、社会的な場でその高度な専門的知識を活用し得る指導的人材を養成することを目的とする。

研究科名	目 的	
人間社会学研究科	21 世紀における少子・高齢化、地方分権及び自己実現要求の高まりを踏まえ、高度福祉社会の実現に貢献できる人材の養成を行うとともに、職業人のリカレント教育（学習）の要求に応えることを目的とする。	
	専攻名	目 的
	社会福祉専攻	児童と家族、障害者及び高齢者等の援助を必要とする人びとの生活課題について、個人や家族、集団、地域等における人間関係やサービス利用状況等を含めて全体的に把握することで当事者の育成や保護、介護、社会参加及び自立支援等の在り方を研究することを目的とする。
	心理臨床専攻	心理学全般の領域を関連づけながら、心理臨床に関する知識技能を深め、心理的支援を必要とする人に対するカウンセリングなどの実践能力を身につけ、さらに、他職種とも協働する能力をもつ臨床心理士を養成することを目的とする。
看護学研究科	地域教育支援専攻	地域における子育て・保育、家庭教育、学校教育及び社会教育の分野における人間形成の営みとその諸問題を、地域教育の視点から教育学を中心に関係諸科学を総合的に研究し、それらの諸問題を実践的に解決しうる高度な専門的能力を持った人材を育成することを目的とする。
	看護学専攻	地域の保健・医療・福祉分野の施策展開を推進する中核的担い手である高度専門職業人としての看護職者や、看護学の創造と発展に貢献できる研究者・教育者を育成することを目的とする。

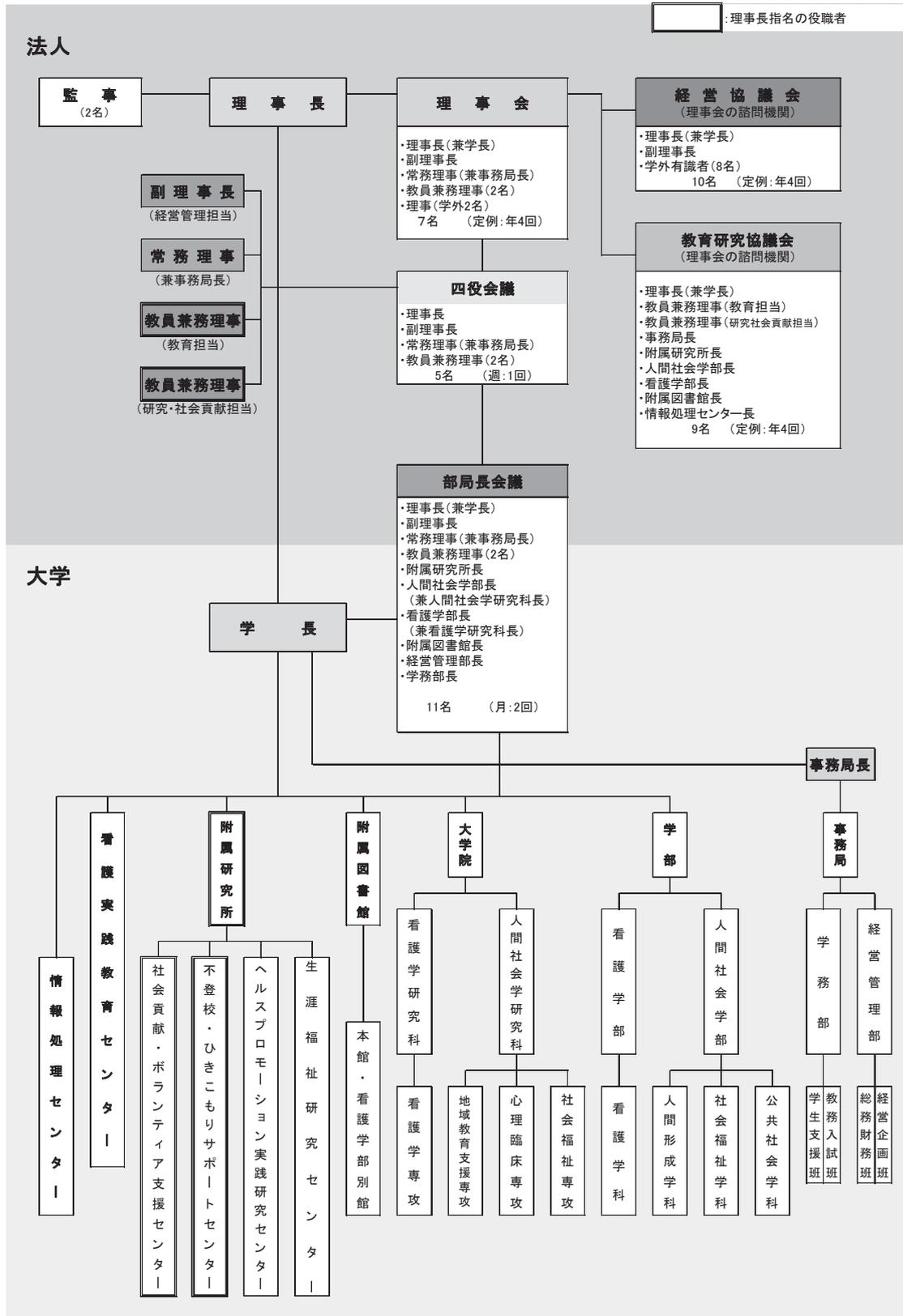
2. キャンパス所在地



〒825-8585

福岡県田川市大字伊田 4395 番地

3. 組織図



4. 役員等一覧（理事会・経営協議会・教育研究協議会）

○理事会

任期 平成26年4月1日～平成28年3月31日

役職名	氏名	所属団体・役職名
理事長	柴田 洋三郎	福岡県立大学 学長兼務
副理事長	渡橋 正博	福岡県立大学
常務理事	武田 清一	福岡県立大学 事務局長兼務
理事（教員兼務理事）	石崎 龍二	福岡県立大学人間社会学部 教授
理事（教員兼務理事）	松浦 賢長	福岡県立大学看護学部 教授
理事	麻生 泰	(株)麻生 代表取締役会長
理事	芳賀 晟壽	社会福祉法人年長者の里 理事長

監事	古本 栄一	古本法律事務所
監事	本田 征洋	本田公認会計士事務所

○経営協議会

任期 平成26年4月1日～平成28年3月31日

役職名	氏名	所属団体・役職名
理事長	柴田 洋三郎	福岡県立大学 学長兼務
副理事長	渡橋 正博	福岡県立大学
委員	秋吉 一明	福岡県立大学と共に歩む会 会長
委員	伊藤 信勝	田川市長
委員	川上 鉄夫	福岡県立大学同窓会 会長
委員	北原 守	北九州市手をつなぐ育成会（親の会） 会長
委員	齋藤 明	独立行政法人大学入試センター 監事
委員	佐渡 文夫	田川商工会議所 会頭
委員	清澤 亨	福岡県立田川高等学校 校長
委員	吉村 恭幸	(一財)福岡県社会保険医療協会 会長

○教育研究協議会 任期 平成26年4月1日～平成28年3月31日

役職名	氏名	役職名
理事長	柴田 洋三郎	福岡県立大学 学長兼務
委員	石崎 龍二	教員兼務理事
委員	武田 清一	事務局長
委員	田中 哲也	人間社会学部長
委員	田中 美智子	情報処理センター長
委員	永嶋 由理子	看護学部長
委員	福田 恭介	附属研究所長
委員	細井 勇	附属図書館長
委員	松浦 賢長	教員兼務理事

5. 教員役職者の任期一覧

(平成26年4月1日現在)

役職名	氏名	任期	任期の期間
学長	柴田 洋三郎	4年	平成24年4月1日～平成28年3月31日
人間社会学部長 兼大学院研究科長	田中 哲也	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日
看護学部長 兼大学院研究科長	永嶋 由理子	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日
附属研究所長	福田 恭介	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日
附属図書館長	細井 勇	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日
看護実践教育センター長	永嶋 由理子	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日
生涯福祉研究センター長	神谷 英二	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日
ヘルスプロモーション実践研究センター長	赤司 千波	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日
不登校・ひきこもりサポートセンター長	小嶋 秀幹	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日
社会貢献・ボランティア支援センター長	村山 浩一郎	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日
情報処理センター長	田中 美智子	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日
一般教育等代表	上野 行良	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日
公共社会学科長	田代 英美	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日
社会福祉学科長	本郷 秀和	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日
人間形成学科長	秦 和彦	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日

II. 教職員

1. 教員

(1) 教員組織

(平成 26 年 5 月 1 日現在)

組織		人数	
			うち大学院と兼務
大学	人間社会学部	43	21
	看護学部	57	33
大学院	人間社会学研究科	21	
	看護学研究科	33	
看護実践教育センター		2	
合計		102	

(2) 教員の性別構成

(平成 26 年 5 月 1 日現在)

職位	男		女		合計
		合計に占める割合		合計に占める割合	
教授	13	56.5%	10	43.5%	23
准教授	16	51.6%	15	48.4%	31
講師	7	31.8%	15	68.2%	22
助教	1	4.8%	20	95.2%	21
助手	0	0.0%	5	100.0%	5
合計	37	36.3%	65	63.7%	102

(3) 教員の年齢構成

(平成 26 年 5 月 1 日現在)

職位 年齢	教授	准教授	講師	助教	助手	合計	全体に占める割合 (%)
25～29				1		1	1.0%
30～34			2	3		5	4.9%
35～39		5	7	12	1	25	24.5%
40～44	1	4	9	5	1	20	19.6%
45～49	3	9	3		1	16	15.7%
50～59	8	12			2	22	21.6%
60～64	10	1	1			12	11.8%
65～	1					1	1.0%
合計	23	31	22	21	5	102	
平均年齢	55.2	47.8	41.4	37.4	45.2	45.9	

(4) 任期付教員数

(平成 26 年 5 月 1 日現在)

組織	教授		准教授		講師		助教		助手		合計	
	人数	(総数)	人数	(総数)	人数	(総数)	人数	(総数)	人数	(総数)	人数	(総数)
人間社会学部	5	(14)	7	(17)	8	(9)	1	(1)	0	(2)	21	(43)
看護学部	5	(9)	9	(14)	8	(13)	16	(18)	3	(3)	41	(57)
人間社会学研究科	4	(10)	4	(10)	1	(1)	0	(0)	0	(0)	9	(21)
看護学研究科	5	(9)	7	(13)	5	(11)	0	(0)	0	(0)	17	(33)
看護実践教育センター	0	(0)	0	(0)	0	(0)	2	(2)	0	(0)	2	(2)
合計	10	(23)	16	(31)	16	(22)	19	(21)	3	(5)	64	(102)

※研究科の教員は学部との兼任。合計は学部と看護実践教育センターの人数。

(5) 学部

① 学部別専任教員（助教以上）の現員及び設置基準

(平成 26 年 5 月 1 日現在)

学部	学科	現 員				計
		教授	准教授	講師	助教	
人間社会学部	一般教育等	4	3	2	0	9
	公共社会学科	3	4	1	0	8
	社会福祉学科	3	3	4	1	11
	人間形成学科	4	7	2	0	13
看護学部	看護学科	9	14	13	20	56
合計		23	31	22	21	97

② 採用実績

	教授	准教授	講師	助教	助手	合計
H 2 2 年度	0	0	4	4	2	10
H 2 3 年度	0	1	5	3	2	11
H 2 4 年度	1	1	1	1	1	5
H 2 5 年度	3	0	1	0	1	5
H 2 6 年度	1	1	3	1	1	7
合計	5	3	14	9	7	38

③ 専門科目における主要科目（必修科目）の専任教員担当状況

学部	学科	主要科目数	主要科目の専任教員担当の科目数	主要科目で非常勤対応の科目数
人間社会学部	公共社会学科	7	7	0
	社会福祉学科	6	6	0
	人間形成学科	8	8	0
看護学部	看護学科	77	71	6

④ 学部別教育補助者（助手・TA）配置数

（平成26年5月1日現在）

学部	現員
人間社会学部	5
看護学部	3

⑤ 非常勤講師の人数と時間数

学部	人数	時間
人間社会学部	67	3,363
看護学部	33	462
両学部共通	15	720
合計	115	4,545

(6) 研究科

① 専攻別指導教員数

（平成26年5月1日現在）

研究科	専攻	現員
人間社会学研究科	社会福祉専攻	5
	心理臨床専攻	6
	地域教育支援専攻	4
看護学研究科	看護学専攻	19

② 研究指導補助教員数

（平成26年5月1日現在）

研究科	専攻	現員
人間社会学研究科	社会福祉専攻	4
	心理臨床専攻	1
	地域教育支援専攻	2
看護学研究科	看護学専攻	16

③ 専門科目における主要科目（必修科目）の専任教員担当状況

研究科	主要科目数	主要科目の専任教員担当の科目数	主要科目で非常勤対応の科目数
人間社会学研究科	17	17	0
看護学研究科	3	3	1

④ 非常勤講師の人数と時間数

研究科	人数	時間
人間社会学研究科	6	210
看護学研究科	6	52
合計	12	262

2. 事務職員

(1) 事務職員数（組織、補職）

（平成 26 年 5 月 1 日現在）

本務職員			非常勤職員	人材派遣会社からの派遣職員	業務委託による従事者
設置団体の職員	法人採用の職員	定員			
13	7	20	47	1	14

(2) 事務職員の採用区分

採用年度	プロパー職員
H 2 4 年度	2 名
H 2 5 年度	3 名
H 2 6 年度	2 名

(3) 事務職員の性別構成

（平成 2 6 年 5 月 1 日現在）

性別	男	女
人数	14 名	6 名

※本統計は事務局本務職員のための統計。

(4) 事務職員の年齢構成

（平成 26 年 5 月 1 日現在）

年齢	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～	合計	平均
人数	4	5	1	0	2	2	4	2	20	38.7

※本統計は事務局本務職員のための統計。

III. 学生

1. 学生数

(1) 学生定数、学年定員、在籍学生数（県内県外、男女比）

(学部)

(平成 26 年 5 月 1 日現在)

学部	定数	在籍者数							
		男			女				
		県内	県外	県内	県外				
H23年度以前入学者	4 公共社会学科	50	71	30	7	23	41	18	23
	社会福祉学科	50	65	12	3	9	53	22	31
	人間形成学科	50	60	11	5	6	49	21	28
	看護学科	80	84	5	4	1	79	47	32
	小計	230	280	58	19	39	222	108	114
H24年度入学者	3 公共社会学科	50	50	21	8	13	29	10	19
	社会福祉学科	50	53	11	6	5	42	17	25
	人間形成学科	50	52	4	2	2	48	16	32
	看護学科	80	79	8	2	6	71	43	28
	小計	230	234	44	18	26	190	86	104
H25年度入学者	2 公共社会学科	50	56	25	6	19	31	11	20
	社会福祉学科	50	54	12	4	8	42	21	21
	人間形成学科	50	55	4	1	3	51	20	31
	看護学科	90	90	6	1	5	84	48	36
	小計	240	255	47	12	35	208	100	108
H26年度入学者	1 公共社会学科	50	55	25	14	11	30	10	20
	社会福祉学科	50	63	11	7	4	52	25	27
	人間形成学科	50	53	3	2	1	50	26	24
	看護学科	90	90	7	5	2	83	45	38
	小計	240	261	46	28	18	215	106	109
公共社会学科	200	232	101	35	66	131	49	82	
社会福祉学科	200	235	46	20	26	189	85	104	
人間形成学科	200	220	22	10	12	198	83	115	
看護学科	340	343	26	12	14	317	183	134	
合計	940	1,030	195	77	118	835	400	435	

(研究科)

(平成 26 年 5 月 1 日現在)

研究科	定数	在籍者数							
		男					女		
		県内	県外	県内	県外	県内	県外		
H25年度以前入学者	2 社会福祉専攻	6	3	2	2	0	1	0	1
	心理臨床専攻	6	9	0	0	0	9	6	3
	地域教育支援専攻	3	3	1	1	0	2	2	0
	看護学専攻	12	16	8	7	1	8	5	3
	小計	27	31	11	10	1	20	13	7
H26年度入学者	1 社会福祉専攻	6	2	1	0	1	1	1	0
	心理臨床専攻	6	10	2	0	2	8	3	5
	地域教育支援専攻	3	0	0	0	0	0	0	0
	看護学専攻	12	6	2	0	2	4	4	0
	小計	27	18	5	0	5	13	8	5
社会福祉専攻		12	5	3	2	1	2	1	1
心理臨床専攻		12	19	2	0	2	17	9	8
地域教育支援専攻		6	3	1	1	0	2	2	0
看護学専攻		24	22	10	7	3	12	9	3
合計		54	49	16	10	6	33	21	12

(2) 学部卒業生数 (4年間で卒業した学生)

入学年度 (学部)	公共社会学科		社会福祉学科		人間形成学科		看護学科		合計		4年間で卒業した 学生の割合 (%)
	入学	卒業	入学	卒業	入学	卒業	入学	卒業	入学	卒業	
H19年度	55	48	56	54	57	54	80	74	248	230	92.7%
H20年度	57	47	56	54	58	55	84	80	255	236	92.5%
H21年度	55	45	56	54	59	54	87	72	257	225	87.5%
H22年度	60	50	61	53	56	54	83	77	260	234	90.0%
H23年度	61	50	59	56	60	53	81	77	261	236	90.4%

※編入学生を除く

(3) 大学院修了生数 (2年間又は3年間 (長期履修) で卒業した学生)

入学年度 (研究科)	人間社会学研究科				看護学研究科				合計				2年間で卒業した 学生の割合 (%)	3年間で卒業した 学生の割合 (%)
	2年間		長期履修		2年間		長期履修		2年間		長期履修			
	入学	卒業	入学	卒業	入学	卒業	入学	卒業	入学	卒業	入学	卒業		
H21年度	17	17	0	0	9	4	0	0	26	21	0	0	80.8%	0.0%
H22年度	20	19	0	0	5	0	0	0	25	19	0	0	76.0%	0.0%
H23年度	16	13	0	0	4	3	3	3	20	16	3	3	80.0%	100.0%
H24年度	10	10	0	0	4	3	10	6	14	13	10	6	92.9%	60.0%
H25年度	12	10	2	—	2	2	2	—	14	12	4	0	85.7%	0.0%

2. 学生の異動（退学・除籍・休学・留年）

(1) 休学・退学・除籍数

(学部)

学部		入学者数	休学者数	休学率 (%)	退学者数	退学率 (%)	除籍者数	除籍率 (%)
H 23 年 度 入 学 者	公共社会学科	61	9	14.8%	1	1.6%	0	0.0%
	社会福祉学科	59	1	1.7%	1	1.7%	0	0.0%
	人間形成学科	60	5	8.3%	3	5.0%	0	0.0%
	看護学科	81	2	2.5%	2	2.5%	0	0.0%
	小計	261	17	6.5%	7	2.7%	0	0.0%
H 24 年 度 入 学 者	公共社会学科	49	3	6.1%	0	0.0%	0	0.0%
	社会福祉学科	57	2	3.5%	4	7.0%	0	0.0%
	人間形成学科	53	1	1.9%	1	1.9%	0	0.0%
	看護学科	80	5	6.3%	3	3.8%	0	0.0%
	小計	239	11	4.6%	8	3.3%	0	0.0%
H 25 年 度 入 学 者	公共社会学科	55	1	1.8%	1	1.8%	0	0.0%
	社会福祉学科	55	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%
	人間形成学科	55	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	看護学科	90	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
	小計	255	3	1.2%	1	0.4%	0	0.0%
H 26 年 度 入 学 者	公共社会学科	55	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	社会福祉学科	63	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%
	人間形成学科	53	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	看護学科	90	1	1.1%	1	1.1%	0	0.0%
	小計	261	1	0.4%	2	0.8%	0	0.0%
公共社会学科		220	13	5.9%	2	0.9%	0	0.0%
社会福祉学科		234	4	1.7%	6	2.6%	0	0.0%
人間形成学科		221	6	2.7%	4	1.8%	0	0.0%
看護学科		341	9	2.6%	6	1.8%	0	0.0%
合計		1,016	32	3.1%	18	1.8%	0	0.0%

※編入学生を除く

(研究科)

研究科		入学者数	休学者数	休学率 (%)	退学者数	退学率 (%)	除籍者数	除籍率 (%)
H 25 年 度 入 学 者	社会福祉専攻	2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	心理臨床専攻	9	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	地域教育支援専攻	3	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	看護学専攻	4	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	小計	18	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%
H 26 年 度 入 学 者	社会福祉専攻	2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	心理臨床専攻	10	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	地域教育支援専攻	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	看護学専攻	6	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	小計	18	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
社会福祉専攻		4	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
心理臨床専攻		19	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
地域教育支援専攻		3	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%
看護学専攻		10	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計		36	1	2.8%	0	0.0%	0	0.0%

(2) 留年数

(学部)

学部		在籍者数	留年者数
H 22 年度	公共社会学科	230	8
	社会福祉学科	230	5
	人間形成学科	236	5
	看護学科	373	4
	小計	1,069	22
H 23 年度	公共社会学科	236	7
	社会福祉学科	232	3
	人間形成学科	239	5
	看護学科	362	3
	小計	1,069	18
H 24 年度	公共社会学科	235	7
	社会福祉学科	234	3
	人間形成学科	232	3
	看護学科	356	4
	小計	1,057	17
H 25 年度	公共社会学科	237	9
	社会福祉学科	232	3
	人間形成学科	229	6
	看護学科	356	12
	小計	1,054	30
H 26 年度	公共社会学科	232	11
	社会福祉学科	235	7
	人間形成学科	220	0
	看護学科	343	5
	小計	1,030	23

※在籍者：その年度の在籍する全学生数

※留年者数：その年度の4年を超えて在籍している者

(研究科)

研究科		在籍者数	留年者数
H 22 年度	人間社会学研究科	39	2
	看護学研究科	20	7
	小計	59	9
H 23 年度	人間社会学研究科	36	0
	看護学研究科	19	8
	小計	55	8
H 24 年度	人間社会学研究科	27	1
	看護学研究科	26	5
	小計	53	6
H 25 年度	人間社会学研究科	27	3
	看護学研究科	25	4
	小計	52	7
H 26 年度	人間社会学研究科	27	1
	看護学研究科	22	2
	小計	49	3

※在籍者：その年度の在籍する全学生数

※留年者数：その年度の2年を超えて在籍している者（長期履修者を除く）

IV. 教育

1. 学部

(1) 開設科目及び単位数

授業科目 「全学共通科目（教養科目）」

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				卒業要件		
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	人間社会学部	看護学部	
教養科目	人文科学	哲学Ⅰ		2	講義	2				人文科学、社会科学、自然科学、総合科目から各4単位以上を修得し、かつ合計28単位以上	選択 6単位以上
		哲学Ⅱ		2	講義	2					
		論理学		2	講義		2				
		宗教学		2	講義		2				
		心理学		2	講義	2					
		心の科学の現在		2	講義	2					
		日本近現代史		2	講義	2					
		アート論		2	講義	2					
		文学		2	講義	2					
	哲学的人間学		2	講義	2						
	社会科学	社会学A		2	講義	2					
		社会学B		2	講義	2					
		法学		2	講義	2					
		憲法		2	講義	2					
		政治学Ⅰ		2	講義		2				
		政治学Ⅱ		2	講義		2				
		経済学A		2	講義	2					
		経済学B		2	講義	2					
		国際関係論		2	講義	2					
	社会思想史		2	講義		2					
	自然科学	科学史		2	講義		2				
		生物学		2	講義	2					
		化学		2	講義	2					
		物理学		2	講義	2					
		統計学		2	講義	2					
		情報科学		2	講義	2					
		環境科学A		2	講義	2					
	環境科学B		2	講義	2						
総合科目	人権論		2	講義	2						
	比較文化論		2	講義	2						
	女性学		2	講義			*1 2	*2 2			
	人間関係の科学		2	講義			2				
	ヒューマンエコロジー		2	講義			*1 2	*2 2			
	現代社会と嗜癖		2	講義	2						
	性教育学		2	講義			*1 2	*2 2			
ケアリング・サイエンス		2	講義			*1 2	*2 2				

注1：「社会学A」「社会学B」は、公共社会学科の必修指定科目である。

2：教員免許状（高校教諭一種（公民）、中学校教諭一種（社会）、養護教諭一種、養護教諭二種、幼稚園教諭一種）取得希望者は、「憲法」を必ず履修しなければならない。

3：※1は人間社会学部、※2は看護学部の標準履修年次であり異学年同時開講となる。

授業科目 「全学共通科目（基礎科目）」

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				卒業要件	
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	人間社会学部	看護学部
必須外国語	英語Ⅰ-(1)	1		演習	1				必修 6単位	
	英語Ⅰ-(2)	1		演習	1					
	英語Ⅱ-(1)	1		演習	1					
	英語Ⅱ-(2)	1		演習	1					
	英語Ⅲ-(1)	1		演習		1				
	英語Ⅲ-(2)	1		演習		1				
	リーディングⅠ	1		演習	1				必修 6単位	
	リーディングⅡ	1		演習		1				
	ライティング	1		演習	1					
	オーラルコミュニケーションⅠ	1		演習	1					
オーラルコミュニケーションⅡ	1		演習	1						
オーラルコミュニケーションⅢ	1		演習		1					
基礎科目 選択外国語	英語Ⅳ-(1)		1	演習			1		海外語学実習、海外語学実習事前指導、Introduction to studying in Englishを除いた科目の中から選択して6単位以上 ※入学後2年間は選択外国語を変更することはできない。なお履修パターンは別途指示する。	英語Ⅳ-(1)、英語Ⅳ-(2)、韓国語Ⅲ-(1)、韓国語Ⅲ-(2)、中国語Ⅲ-(1)、中国語Ⅲ-(2)、海外語学実習、海外語学実習事前指導、Introduction to studying in Englishを除いた科目の中から選択して2単位以上
	英語Ⅳ-(2)		1	演習			1			
	リーディングⅢ		1	演習				1		
	韓国語Ⅰ-(1)		1	演習	1					
	韓国語Ⅰ-(2)		1	演習	1					
	韓国語Ⅱ-(1)		1	演習		1				
	韓国語Ⅱ-(2)		1	演習		1				
	韓国語Ⅲ-(1)		1	演習			1			
	韓国語Ⅲ-(2)		1	演習			1			
	中国語Ⅰ-(1)		1	演習	1					
	中国語Ⅰ-(2)		1	演習	1					
	中国語Ⅱ-(1)		1	演習		1				
	中国語Ⅱ-(2)		1	演習		1				
	中国語Ⅲ-(1)		1	演習			1			
	中国語Ⅲ-(2)		1	演習			1			
	仏語Ⅰ-(1)		1	演習	1					
	仏語Ⅰ-(2)		1	演習	1					
	仏語Ⅱ-(1)		1	演習		1				
	仏語Ⅱ-(2)		1	演習		1				
	独語Ⅰ-(1)		1	演習	1					
	独語Ⅰ-(2)		1	演習	1					
	独語Ⅱ-(1)		1	演習		1				
	独語Ⅱ-(2)		1	演習		1				
海外語学実習事前指導		1	演習			1				
海外語学実習		1	演習			1				
Introduction to studying in English		1	演習	1						
情報処理	情報処理の基礎と演習	2		演習	2				必修2単位	
	情報処理演習Ⅰ	1		演習	1					必修1単位
	情報処理演習Ⅱ		1	演習	1					
健康科学	保健理論		2	講義	2				選択必修2単位	
	健康スポーツ論		2	講義	2					
	健康科学実習Ⅰ	1		☆実習	1				必修2単位	必修2単位
	健康科学実習Ⅱ	1		☆実習	1					
基礎ゼミ	教養演習	1		演習	1				必修1単位	必修1単位

注1：必修外国語のうち、リーディングⅠ・Ⅱ・Ⅲ、ライティング、オーラルコミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲは、看護学部学生が履修し、その他は人間社会学部学生が履修する授業である。

2：英語を除く外国語のうち、韓国語Ⅲ-(1)、Ⅲ-(2)、中国語Ⅲ-(1)、Ⅲ-(2)は、人間社会学部学生が履修する授業である。

3：海外語学実習、海外語学実習指導、Introduction to studying in English は選択外国語の単位数には含まれないが、自由選択の単位となる。

4：Introduction to studying in English、情報処理の基礎と演習、保健理論、健康スポーツ論は人間社会学部学生が履修し、情報処理演習Ⅰ、情報処理演習Ⅱは看護学部学生が履修する授業である。

5：授業方法欄の「☆実習」は、毎週1回（90分）で半期、原則として15回の授業となる。

公共社会学科「専門教育科目」(※は共通専門科目)

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期(標準履修年次)				備考
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
公共社会学基礎論	社会学概論	2		講義		2			
	社会学史 I	2		講義	2				
	社会学史 II	2		講義	2				
	公共性研究 A (公共性の社会学)	2		講義	2				
	公共性研究 B (地方自治基礎論)	2	2	講義	2				
	※公共性研究 C-I (社会保障論 I)		2	講義			2		
	※公共性研究 C-II (社会保障論 II)		2	講義			2		
	社会学の分析法 A (ミクロ理論)	2		講義			2		
	社会学の分析法 B (集団・組織論)	2		講義			2		
	社会学の分析法 C (マクロ理論)	2		講義			2		
	現代社会論 A (ジェンダー・世代)	2		講義		2			
	現代社会論 B (情報社会論)	2		講義		2			
	現代社会論 C (情報社会と法)	2		講義		2			
	※家族社会学 I		2	講義		2			
	※家族社会学 II		2	講義		2			
	福祉社会学	2		講義			2		
	社会病理学	2		講義		2			
	社会変動と社会問題	2		講義			2		
	集合行動論	2		講義			2		
	公共人類学 A	2		講義			2		
	公共人類学 B	2		講義			2		
	労働経済論 A	2		講義		2			
	労働経済論 B	2		講義		2			
CSR (企業の社会的責任) 論	2		講義			2			
※社会心理学		2	講義	2					
※パーソナリティ論		2	講義	2				人間形成学科の人格心理学と共通	
社会調査・情報処理	社会調査法	2		講義		2			
	社会調査の設計	2		講義		2			
	データ分析の基礎	2		講義			2		
	社会統計学 I	2		講義		2			
	社会統計学 II	2		講義		2			
	質的調査法	2		講義		2			
	※データ処理とデータ解析 I	1		演習			1		
	※データ処理とデータ解析 II	1	1	演習			1		
	社会調査実習	2		実習			2		通年
	情報数学	2		講義		2			
プログラミング概論	2		講義		2				
地域社会ネットワーク	地域社会学 I	2		講義	2				
	地域社会学 II	2		講義			2		
	コミュニティ論	2		講義		2			
	都市社会学	2		講義	2				
	地域社会学特講	2		講義			2		
	地域社会分析法 A (地域と生活)	2		講義			2		
	地域社会分析法 B (住民参加)	2		講義			2		
	地域社会分析法 C (地理)	2		講義			2		
	環境社会学	2		講義			2		
	地理学概論	2		講義		2			
	地方自治論	2		講義			2		
	地域社会研究 I	1		演習		1			選択必修
	地域社会研究 II	1		演習		1			選択必修
	地域保健論	2		講義			2		
	地域計画論	2		講義			2		
社会福祉計画論	2		講義			2		社会福祉学科の福祉行財政と福祉計画と共通	

アジア 国際 共生	国際社会学Ⅰ		2	講義	2				
	国際社会学Ⅱ		2	講義	2				
	国際政治学		2	講義	2				
	多文化社会論		2	講義		2			
	国際社会福祉論		2	講義			2	(2)	隔年開講
	世界地理		2	講義	2				
	東アジア関係史		2	講義		2			
	韓国の社会と文化		2	講義		2			
	中国の社会と文化		2	講義		2			
	イスラム社会論		2	講義		2			
	文化人類学Ⅰ		2	講義		2			
	文化人類学Ⅱ		2	講義		2			
	国際教育文化交流論		2	講義			2		
	国際共生研究Ⅰ		1	演習		1			選択必修
	国際共生研究Ⅱ		1	演習		1			選択必修
	NPO論		2	講義			2		
	国際協力論		2	講義			2		
外書講読A		1	演習			1			
外書講読B		1	演習			1			
関連 科目	哲学要論		2	演習		2			
	倫理学		2	講義		2			
	日本史概論		2	講義		2			
	西洋史概論		2	講義		2			
	法律学概論Ⅰ		2	講義			2		
	法律学概論Ⅱ		2	講義			2		
	比較教育学		2	講義		2			
	教育社会学		2	講義			2		
共通 専門 科目 (他学科開設)	※ 社会福祉学概論Ⅰ		2	講義	2				
	※ 地域福祉論Ⅰ		2	講義			2		
	※ 地域福祉論Ⅱ		2	講義			2		
	※ 教育学概論B		2	講義	2				
	※ 生涯教育論		2	講義		2			
	※ 社会教育論		2	講義		2			
※ コミュニケーション論		2	講義	2					
	公共社会学研究Ⅰ	1		演習		1			
	公共社会学研究Ⅱ	1		演習		1			
	卒業論文	6					6		

※ 共通専門科目は、他学科で開設される3科目以上を含んで、6科目以上選択必修。

注1：地域社会研究Ⅰ、国際共生研究Ⅰは1科目選択必修。

2：地域社会研究Ⅱ、国際共生研究Ⅱは1科目選択必修。

社会福祉学科「専門教育科目」(※は共通専門科目)

	授業科目の区分と科目名	単位		授業方法	開設時期(標準履修年次)				備考
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
基礎部門	※社会福祉学概論Ⅰ	2		講義	2				
	社会福祉学概論Ⅱ	2		講義	2				
	※社会保障論Ⅰ		2	講義		2			
	※社会保障論Ⅱ		2	講義		2			
	社会福祉史入門		2	講義	2				
	社会福祉発達史		2	講義			2		
	社会福祉法制論A		2	講義			2		
	社会福祉法制論B		2	講義			2		
	福祉社会学		2	講義			2		
	社会病理学		2	講義		2			
	コミュニティ論		2	講義		2			
社会福祉学演習	2		演習			2		3年次～4年次	
運営方法部門	福祉行財政と福祉計画		2	講義			2		公共社会学科の社会福祉計画論と共通
	福祉経営論		2	講義			2		
	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	2		講義	2				
	相談援助の基盤と専門職Ⅱ	2		講義	2				
	相談援助の理論と方法A		2	講義		2			
	相談援助の理論と方法B		2	講義		2			
	相談援助の理論と方法C		2	講義		2			
	相談援助の理論と方法D		2	講義			2		
	社会福祉調査法		2	講義			2		
	相談援助演習A		2	演習		2			
	相談援助演習B		2	演習			2		
	相談援助演習C		1	演習			1		
	介護技術演習		1	演習			1		
	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)		2	講義		2			
	精神保健福祉援助技術各論Ⅰ		2	講義			2		
	精神保健福祉援助技術各論Ⅱ		2	講義			2		
	精神保健福祉援助演習		2	演習			2		3年次～4年次
学校ソーシャルワーク論		2	講義			2			
学校ソーシャルワーク演習		1	演習				1		
分野対象部門	公的扶助論		2	講義		2			
	児童福祉論		2	講義		2			
	障害者福祉論		2	講義		2			
	老人福祉論		2	講義		2			
	介護福祉論		2	講義		2			
	精神保健福祉論Ⅰ		2	講義		2			
	精神保健福祉論Ⅱ		2	講義			2		
	精神保健福祉論Ⅲ		2	講義			2		
	※地域福祉論Ⅰ		2	講義			2		
	※地域福祉論Ⅱ		2	講義			2		
	家族福祉論		2	講義			2		人間形成学科の家庭支援論と共通
	保健医療論		2	講義		2			
	国際社会福祉論		2	講義			2	(2)	隔年開講 平成27年度は開講しない
	就労支援		1	講義		1			
	権利擁護と成年後見制度		2	講義			2		
	更生保護		1	講義		1			
	特講	社会福祉特講A		2	講義		2	(2)	
社会福祉特講B			2	講義	2				人間形成学科の思春期保健と共通
社会福祉特講C			2	講義			2		

実習	社会福祉調査実習		1	実習			1		
	相談援助実習		4	実習			4		
	相談援助実習指導		3	演習			3		2年次～3年次
	精神保健福祉援助実習		5	実習			5		3年次～4年次
	精神保健福祉援助実習指導		3	演習			3		3年次～4年次
	学校ソーシャルワーク実習		2	実習				2	
	学校ソーシャルワーク実習指導		1	演習				1	
関連科目	医学概論		2	講義	2				
	倫理学		2	講義		2			
	公衆保健		2	講義		2			
	福祉機器論		2	講義			2		
	外書講読		1	演習			1		
	地方自治論		2	講義			2		
	労働経済論A		2	講義		2			
	労働経済論B		2	講義		2			
	現代社会論A (ジェンダー・世代)		2	講義		2			
	現代社会論B (情報社会論)		2	講義		2			
	地域社会学Ⅰ		2	講義	2				
	地域社会学Ⅱ		2	講義			2		
	NPO論		2	講義			2		
	家族法		2	講義			2	(2)	隔年開講 平成26年度は開講しない
	住環境論		2	講義			2	(2)	隔年開講 平成26年度は開講しない
	発達心理学Ⅰ-A		2	講義	2				
	発達心理学Ⅱ		2	講義	2				
	発達心理学Ⅲ		2	講義		2			
	老年心理学		2	講義			2		
	老年期医学		2	講義			2		
	精神保健学Ⅰ		2	講義		2			人間形成学科の精神保健学と共通
	精神保健学Ⅱ		2	講義		2			
	精神医学Ⅰ		2	講義			2		
	精神医学Ⅱ		2	講義			2		
	精神科リハビリテーション学Ⅰ		2	講義			2		
	精神科リハビリテーション学Ⅱ		2	講義			2		
共通専門科目(他学科開設)	※社会心理学		2	講義	2				
	※データ処理とデータ解析Ⅰ		1	演習			1		
	※データ処理とデータ解析Ⅱ		1	演習			1		
	※家族社会学Ⅰ		2	講義		2			
	※家族社会学Ⅱ		2	講義		2			
	※教育学概論B		2	講義	2				
	※生涯教育論		2	講義		2			
	※社会教育論		2	講義		2			
	※パーソナリティ論		2	講義	2				人間形成学科の人格心理学と共通
	※コミュニケーション論		2	講義	2				
	卒業論文	6					6		

※共通専門科目は、他学科で開設される3科目以上を含んで、6科目以上選択必修

人間形成学科「専門教育科目」（※は共通専門科目）

区分	授 業 科 目	単 位		授 業 方 法	開設時期（標準履修年次）				備 考	
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次		
基 幹 科 目	教育学概論A		2	講義	2				選択必修（保育士資格・幼稚園教諭免許取得希望者）	
	※教育学概論B		2	講義	2				選択必修	
	教育思想論	2		講義		2				
	※生涯教育論	2		講義		2				
	教育社会学		2	講義			2			
	発達心理学Ⅰ-A		2	講義	2				選択必修	
	発達心理学Ⅰ-B		2	講義	2				選択必修（保育士資格・幼稚園教諭免許取得希望者）	
	発達心理学Ⅱ	2		講義	2					
	教育心理学概論		2	講義		2			選択必修	
	幼児教育心理学		2	☆演習		2			選択必修（保育士資格・幼稚園教諭免許取得希望者）	
	生理心理学Ⅰ		2	講義		2				
	心身科学A	2		講義		2				
	心身科学B	2		講義		2				
	発達論		2	講義	2					
加齢基礎論		2	講義		2					
展 開 科 目	教育史		2	講義		2				
	公共人類学B(教育)		2	講義			2			
	教育制度論		2	講義			2			
	教育内容論		2	講義			2			
	教育方法論		2	講義			2			
	比較教育学		2	講義		2				
	教育評価		2	講義			2			
	保育学		2	講義		2				
	保育課程論		2	講義		2				
	保育方法論		2	講義			2			
	保育者論		2	講義	2					
	保育内容総論		2	☆演習		2				
	保育内容演習		2	☆演習				2		
	※社会教育論		2	講義		2				
	社会教育計画論Ⅰ		2	講義			2			
	社会教育計画論Ⅱ		2	講義			2			
	図書館情報学		2	講義			2	(2)	隔年開講 平成27年度は開講しない	
	社会教育演習		2	演習			2			
	理 目 系	生理心理学Ⅱ		2	講義		2			
		知覚心理学		2	講義			2		
認知心理学			2	講義			2			
比較行動学			2	講義				2	開講しない	
学習心理学			2	講義			2			
※人格心理学			2	講義	2				公共社会学科のパーソナリティ論と共通	
発達心理学Ⅲ			2	講義		2				
老年心理学			2	講義			2			
※コミュニケーション論			2	講義	2					
集団力学			2	講義		2				
家族心理学			2	講義				2		
組織心理学			2	講義			2			
臨床心理学			2	講義			2			
障害者(児)心理学			2	講義				2		
カウンセリング		2	講義				2			
実験測定法Ⅰ		1	演習		2					
実験測定法Ⅱ		1	演習		2					

区分	授 業 科 目	単 位		授 業 方 法	開設時期（標準履修年次）				備 考
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
（ 関 連 科 目 ）	保育実習Ⅱ		2	実習			2		
	保育実習指導Ⅲ		1	演習			1		
	保育実習Ⅲ		2	実習			2		
	相談援助		1	演習		1			
	児童家庭福祉		2	講義		2			社会福祉学科の児童福祉論と共通
	国際教育文化交流論		2	講義			2		
	社会教育特講A		2	講義		2			
	社会教育特講B		2	講義			2		
	社会教育特講C		2	講義			2		開講しない
	社会教育特講D		2	講義	2				
	社会教育特講E		2	講義		2			
	キャリア教育論		2	講義			2		開講しない
	現代社会論C		2	講義			2		
	社会統計学Ⅰ		2	講義		2			
	社会調査法		2	講義		2			
医学概論		2	講義	2					
共 通 専 門 科 目 （ 他 学 科 開 設 ）	※社会心理学		2	講義	2				
	※データ処理とデータ解析Ⅰ		1	演習			1		
	※データ処理とデータ解析Ⅱ		1	演習			1		
	※家族社会学Ⅰ		2	講義		2			
	※家族社会学Ⅱ		2	講義		2			
	※社会福祉学概論Ⅰ		2	講義	2				
	※社会保障論Ⅰ		2	講義		2			
	※社会保障論Ⅱ		2	講義		2			
	※地域福祉論Ⅰ		2	講義			2		
	※地域福祉論Ⅱ		2	講義			2		
	演習	2		演習			2		3年次後期～4年次前期
	卒業論文		6					6	1科目選択必修
	卒業研究		6					6	

※ 共通専門科目は、他学科で開設される3科目以上を含んで、6科目以上選択必修。

注：授業方法欄の「☆演習」は、毎週1回（90分）で半期、原則として15回の授業となる。

看護学部専門基礎科目

授業科目の区分と科目名	単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				条 件	
	必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次		
人間の 見方と 健康	ホリスティック人間論	1		講義	1				
	生命倫理		2	講義	2				
	遺伝学		2	講義	2				
	栄養学	2		講義	2				
	人類生態学		2	講義		2			
	疫学		2	講義		2			
	保健統計学	2		講義		2			統計学を履修していることが望ましい
	保健社会調査論		2	演習			2		
	臨床心理学		2	講義			2		
	精神保健学		2	講義		2			
	東洋医学概論	1		講義		1			
医人 間と 保健・	保健社会学	1		講義	1				
	保健医療福祉行政論Ⅰ	1		講義		1			
	保健医療福祉行政論Ⅱ		2	講義				2	
	公衆衛生学	2		講義	2				

看護学部専門科目

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				条件
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
基礎看護学系	実験看護学	生態機能看護学Ⅰ	2		講義	2			
		生態機能看護学Ⅱ	2		講義	2			
		生態機能看護学Ⅲ		1		演習			1
		看護生化学	2		講義	2			
		病態看護学Ⅰ	2		講義		2		
		病態看護学Ⅱ	2		講義		2		
		看護薬理学	2		講義		2		
		感染・免疫看護学演習	1		演習	1			
	生態・病態看護学実験	1		実験		1			
	基礎看護学	基礎看護学概論	2		講義	2			
		基礎看護技術論	2		演習	2			基礎看護学概論、ケアリング論、基礎看護学実習Ⅰを履修していること
		ケアリング論	1		講義	1			
		シンプトンマネジメント論	1		演習		1		フィジカルアセスメント論、看護過程を修得していること
		フィジカルアセスメント論	2		演習		2		基礎看護技術論を修得していること
		看護過程	1		演習		1		基礎看護学概論、ケアリング論、基礎看護技術論を修得していること
		看護研究	2		講義			2	教養演習を修得していること
		基礎看護学実習Ⅰ	1		実習	1			
	基礎看護学実習Ⅱ	2		実習		2		基礎看護技術論、基礎看護学実習Ⅰを修得し、フィジカルアセスメント論、看護過程を履修していること	
	臨床機能看護学	看護管理論	1		講義				1
		看護教育学	1		講義			1	
		看護実践論	1		演習			1	
教師論			2	講義			2		
看護情報学			1	演習		1			
臨床看護学系	精神看護学	精神看護学概論	1		講義		1		
		精神看護学	2		講義		2		
		精神看護学演習Ⅰ	1		演習			1	精神看護学概論、精神看護学を履修していること
		精神看護学演習Ⅱ	1		演習			1	精神看護学概論、精神看護学を履修していること
		精神看護学実習	2		実習			2	精神看護学概論、精神看護学、精神看護学演習ⅠⅡを履修していること
	成人看護学	成人看護学概論	1		講義		1		生態機能看護学ⅠⅡ、基礎看護学概論を履修していること
		成人急性看護学	2		講義		2		生態機能看護学ⅠⅡ、成人看護学概論、病態看護学ⅠⅡを履修していること
		成人慢性看護学	2		講義		2		生態機能看護学ⅠⅡ、成人看護学概論、病態看護学ⅠⅡを履修していること
		成人看護学演習Ⅰ	1		演習			1	成人急性看護学、成人慢性看護学を修得していること
		成人看護学演習Ⅱ	1		演習			1	成人急性看護学、成人慢性看護学を修得していること
		成人急性看護学実習	3		実習			3	成人看護学概論、成人急性看護学、成人慢性看護学、成人看護学演習ⅠⅡを修得していること
		成人慢性看護学実習	3		実習			3	成人看護学概論、成人急性看護学、成人慢性看護学、成人看護学演習ⅠⅡを修得していること
	老年看護学	老年看護学概論	1		講義		1		
		老年看護学	2		講義		2		老年看護学概論、病態看護学ⅠⅡを履修していること
		老年看護学演習Ⅰ	1		演習			1	老年看護学概論、老年看護学を履修していること
		老年看護学演習Ⅱ	1		演習			1	老年看護学演習Ⅰを履修していること
		老年看護学実習Ⅰ	1		実習		1		
		老年看護学実習Ⅱ	3		実習			3	基礎看護学実習Ⅱ、老年看護学概論、老年看護学、老年看護学実習Ⅰを修得し、老年看護学演習Ⅰを履修していること
	小児看護学	小児看護学概論	1		講義		1		生態機能看護学ⅠⅡ、基礎看護学概論を履修していること
		小児看護学	2		講義		2		小児看護学概論を修得し、病態看護学ⅠⅡを履修していること
		小児看護学演習Ⅰ	1		演習			1	小児看護学概論、小児看護学を修得していること
小児看護学演習Ⅱ		1		演習			1	小児看護学概論、小児看護学、小児看護学演習Ⅰを修得していること	
小児看護学実習		2		実習			2	小児看護学演習Ⅱを履修していること	
女性看護学	女性看護学概論	1		講義		1			
	女性看護学	2		講義		2		生態機能看護学ⅠⅡ、生態・病態看護学実験、病態看護学ⅠⅡ、女性看護学概論を履修していること	
	女性看護学演習Ⅰ	1		演習			1	女性看護学概論、女性看護学を履修していること	
	女性看護学演習Ⅱ	1		演習			1	女性看護学概論、女性看護学、女性看護学演習Ⅰを履修していること	
	女性看護学実習	2		実習			2	女性看護学演習Ⅱを履修していること	

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				条 件
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
ヘルスプロモーション看護学系	在宅看護学	在宅看護学概論	1		講義		1		生態機能看護学Ⅱ、基礎看護学概論を履修していること
		在宅看護学	2		講義		2		在宅看護概論、病態看護学Ⅱを履修していること
		在宅看護学演習Ⅰ	1		演習			1	在宅看護学概論、在宅看護学を履修していること
		在宅看護学演習Ⅱ	1		演習			1	在宅看護学概論、在宅看護学、在宅看護学演習Ⅰを修得していること
		在宅看護学実習	2		実習			2	在宅看護学演習Ⅱを履修していること
	地域看護学	公衆衛生看護学Ⅰ	2		講義		2		
		公衆衛生看護学Ⅱ		2	講義			2	公衆衛生看護アセスメント論Ⅰを修得していること
		公衆衛生看護学Ⅲ		1	講義			1	公衆衛生看護学Ⅱ、公衆衛生看護学実習Ⅰを修得していること
		公衆衛生看護技術論Ⅰ		2	演習			2	公衆衛生看護アセスメント論Ⅰを修得していること
		公衆衛生看護技術論Ⅱ		2	演習			2	公衆衛生看護アセスメント論Ⅰを修得していること
		組織協働活動論		2	講義			2	公衆衛生看護アセスメント論Ⅰを修得していること
		公衆衛生看護アセスメント論Ⅰ		1	講義			1	公衆衛生看護学Ⅰ、疫学、保健統計学、保健医療福祉行政論Ⅰ、精神看護学演習Ⅰ、小児看護学演習Ⅰ、女性看護学演習Ⅰ、成人看護学演習Ⅰ、成人看護学演習Ⅱ、老年看護学演習Ⅰ、在宅看護学演習Ⅰを修得していること
		公衆衛生看護アセスメント論Ⅱ		2	演習			2	公衆衛生看護アセスメント論Ⅰを修得していること
		公衆衛生看護管理論		2	講義			2	公衆衛生看護学Ⅱ、公衆衛生看護学実習Ⅰを修得していること
		公衆衛生看護学実習Ⅰ		1	実習			1	精神看護学実習、成人急性看護学実習、成人慢性看護学実習、老年看護学実習Ⅱ、小児看護学実習、女性看護学実習、在宅看護学実習を履修していること
	公衆衛生看護学実習Ⅱ		4	実習			4	公衆衛生看護学実習Ⅰ、精神看護学実習、成人急性看護学実習、成人慢性看護学実習、老年看護学実習Ⅱ、小児看護学実習、女性看護学実習、在宅看護学実習を履修していること	
	家族看護学	1		講義			1		
	国際看護論		2	講義			2		
	学校保健看護学	養護概説		2	講義		2		教職に関する科目と養護に関する科目を履修していることが望ましい
		学校保健学		1	講義			1	不登校・ひきこもり援助論を履修していること
教職実践演習（養護教諭）			2	演習			2	教職に関する科目、養護に関する科目、養護実習を履修していること	
養護実習事前事後指導			1	実習			1	教職に関する科目と養護に関する科目を履修していること	
健康教育論			2	講義			2		
養護実習			4	実習			4	教職に関する科目と養護に関する科目を履修していること	
ヘルスプロモーション	ヒーリング論	1		演習	1			生態機能看護学Ⅰを履修していること	
	ヒーリングセラピー		1	演習		1		ヒーリング論を履修していること	
	東洋看護学演習		1	演習			1		
	統合実習	2		実習			2	領域別実習を履修していること	
	専門看護学ゼミ	2		演習		2			
	卒業研究	2		演習			2	看護研究、専門看護学ゼミを履修していること	

(2) 卒業必要科目及び単位数

区分		人間社会学部									看護学部			
		公共社会学科			社会福祉学科			人間形成学科			看護学科			
		必修	選択	自由 選択	必修	選択	自由 選択	必修	選択	自由 選択	必修	選択	自由 選択	
全 学 共 通 科 目	教養科目	人文科学	4	12	12	4	12	4	12	4	12		6	7
		社会科学	4			4		4						
		自然科学	4			4		4						
		総合科目	4			4		4		2				
	基礎科目	必須外国語	英語他	6		6		6		6				
		選択外国語	リーディング、コリア語、中国語、仏語、独語他	6		6		6		6		2		
		情報処理		2		2		2		2		1		
		健康科学	講義		2		2			2				
			実習		2		2		2		2		2	
		基礎ゼミ		1		1		1		1		1		
	両学部で学ぶ専門的連携科目													
	専門基礎科目(看護学部)												10	
専門科目(看護学部)												91		
専門教育科目(人間社会学部)		19	50		16	53		18	51					
教職に関する専門教育科目														
合計(卒業必要最低単位数)		128			128			128			128			

注1：上表の「選択」には「選択必修」も含まれる。

2：人間社会学部における「専門教育科目」、看護学部における「専門科目」には、卒業論文又は卒業研究が含まれる。

3：「自由選択」の履修方法

他学部・他学科の開設科目を含み、「全学共通科目」「両学部で学ぶ専門的連携科目」「専門基礎科目」「専門科目」「専門教育科目」及び「教職に関する専門教育科目」から自由に選択履修することができる。

ただし、自分の所属する学部・学科の開設科目は自由に選択できるが、他学部・他学科の開設科目の場合は、当該学部・学科が指定した科目の中から選択し、あらかじめその履修を届け出なければならない。

なお、看護学部においては、自由選択の授業科目のうち卒業要件として認められるのは、「全学共通科目」「両学部で学ぶ専門的連携科目」「専門基礎科目」及び「専門科目」である。人間社会学部の「専門教育科目」及び「教職に関する専門教育科目」は卒業要件としては認められない。

(3) 両学部で学ぶ専門的連携科目

授業科目の区分と科目名	単位		授業方法	開設時期(標準履修年次)				卒業要件	
	必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	人間社会学部	看護学部
社会貢献論		2	講義	2				各学科とも自由選択の12単位に含めることができる	自由選択の7単位に含めることができる
不登校・ひきこもり援助論		2	講義	2					
社会貢献論演習		2	演習	2					
不登校・ひきこもり援助応用演習		1	演習			1			
プレ・インターンシップ		2	実習	2					

(4) 講義・演習・実習の開講科目数

(単位：科目数)

学 部	講義科目	演習科目	実習科目	合計
全学共通科目（教養）	36	0	0	36
全学共通科目（基礎）	2	42	2	46
両学部で学ぶ科目	2	2	1	5
公共社会学科専門科目	69	12	1	82
福祉社会学科専門科目	68	12	4	84
人間形成学科専門科目	73	38	8	119
看護学科専門科目	50	30	16	96

2. 大学院

(1) 教育課程及び履修基準

人間社会学研究科

専攻	科目区分	授業科目	標準開講年次と単位数				備考
			年次	必修	選択	自由	
社会福祉専攻	コア科目	特別研究 フィールドワーク	1～2 1	4 2			履修方法及び修了要件 1. 修士課程の修了には、各自の研究分野に従い、指導教員の下に、所定の30単位以上(心理臨床専攻は32単位以上)を修得し、かつ修士論文の審査と最終試験に合格しなければならぬ。 2. 社会福祉専攻は、所属専攻から26単位以上、他専攻から4単位以上修得すること。 3. 心理臨床専攻は、専攻から必修科目20単位及び選択科目10単位以上、合計30単位以上、他専攻から2単位以上修得すること。 なお、選択科目は、A～E群からそれぞれ2単位以上修得すること。 4. 地域教育支援専攻は、必修科目14単位を含めて、合計30単位以上(他専攻から2科目、4単位以上を含む。)修得すること。 5. 心理臨床専攻の必修科目及び選択科目E群については、他専攻の学生は受講できない。
	社会福祉分野	社会福祉研究	1・2		2		
		社会福祉演習	1・2		2		
		ソーシャルワーク研究	1・2	2			
		ソーシャルワーク演習	1・2	2			
		高齢者福祉研究	1・2		2		
		高齢者福祉演習	1・2		2		
		地域福祉研究	1・2		2		
		地域福祉演習	1・2		2		
		障害者福祉研究	1・2		2		
		障害者福祉演習	1・2		2		
		福祉制度比較研究	1・2		2		
	社会保障制度研究	1・2		2			
	子ども家庭福祉研究	1・2		2			
	地域社会分野	公共政策研究 (H26年度は開講せず)	1・2		2		
		地域文化研究	1・2		2		
		地域文化演習	1・2		2		
地域社会研究		1・2		2			
地域社会演習		1・2		2			
地域問題研究		1・2		2			
		計		10	34		
心理臨床専攻	必修科目	臨床心理学特論	1・2	4			
		臨床心理面接特論	1・2	4			
		臨床心理査定演習	1・2	4			
		臨床心理基礎実習	1	2			
		臨床心理実習(学内)	2	1			
		臨床心理実習(施設)	2	1			
	A群	臨床心理学研究法特論	1・2		2		
		心理学研究法特論	1・2		2		
	B群	発達心理学特論	1・2		2		
		認知心理学特論	1・2		2		
C群	社会心理学特論	1・2		2			
	人間関係特論	1・2		2			
D群	神経生理学特論	1・2		2			
	老年心理学特論	1・2		2			
E群	心理療法特論	1・2		2			
	投影法特論	1・2		2			
	学校臨床心理学特論	1・2		2			
		特別研究	1～2	4			
		計		20	22		

地域 教育 支援 専攻	コア科目	地域教育支援研究Ⅰ	1・2	2		
		地域と子育て研究Ⅰ	1・2	2		
		地域と学校教育研究Ⅰ	1・2	2		
		地域と社会教育研究Ⅰ	1・2	2		
		特別研究	1～2	4		
		フィールドワーク	1	2		
	地域と子育て分野	地域と子育て研究Ⅱ	1・2		2	
		地域と子育て演習	1・2		2	
	地域と学校教育分野	子育ての比較文化研究	1・2		2	
		子育ての比較文化演習	1・2		2	
地域と学校教育研究Ⅱ		1・2		2		
地域と社会教育分野	地域と学校教育演習	1・2		2		
	地域と教育実践研究	1・2		2		
地域教育支援科目	地域と社会教育演習A	1・2		2		
	地域と社会教育演習B	1・2		2		
	地域教育支援研究ⅡA	1・2		2		
		地域教育支援演習ⅡB	1・2		2	
		地域教育支援演習	1・2		2	
		計		14	24	

看護学研究科看護学専攻

	科目区分	授業科目の名称	標準開講年次と単位数				備考
			年次	必修	選択	自由	
看護学専攻	専門必修科目	看護理論	1	2			履修方法及び修了要件
		看護倫理	1	2			
		看護研究法	1	2			
			計		6		
	共通選択科目	コンサルテーション論	1		2		研究コース 修士課程の修了には、 選択領域において必要 とされている科目を含 む30単位以上修得し、か つ修士論文の審査と最 終試験に合格しなけれ ばならない。 専門看護師コース がん看護専門看護師 コースは選択領域にお いて必要とされている 科目を含む
		看護教育学	1		2		
		看護管理学	1		2		
		臨床心理学特論	1		2		
		家族社会学特論	1		2		
		ヘルスプロモーション科学	1		2		
		哲学的人間学	1		2		
		データ解析特論	1		2		
		データ解析演習	1		2		
		英語文献講読特講	1		2		
		看護政策論	1		2		
Advanced生理学・病態生理学	1		2				
		計		24			
専門学分野	基盤看護学領域	看護教育学特論	1		2		36単位以上、精神看護専 門看護師コースは40単 位以上修得し、かつ修士 論文(課題研究)の審査 と最終試験に合格しな ければならない。詳細は 専門看護師コースの履 修モデルを参照のこと。
		看護教育学演習	1		2		
		基礎看護学特論	1		2		
		基礎看護学演習	1		2		
		看護心理学特論	1		2		
		看護心理学演習	1		2		
		実験看護学特論	1		2		
		実験看護学演習	1		2		
		基盤看護学特別研究	2		8		
		小計		24			

看護学専攻	看護学分野専門科目	ヘルスプロモーション看護学領域	思春期ヘルスプロモーション特論	1		2	
			思春期ヘルスプロモーション演習	1		2	
			地域看護学特論	1		2	
			地域看護学演習	1		2	
			在宅看護学特論	1		2	
			在宅看護学演習	1		2	
			食育学特論	1		2	
			食育学演習	1		2	
			ヘルスプロモーション看護学特別研究	2		8	
			小計			24	
		臨床看護学領域	助産学特論	1		2	
			助産学演習	1		2	
			小児看護学特論	1		2	
			小児看護学演習	1		2	
			代替・補完看護学特論	1		2	
			代替・補完看護学演習	1		2	
			成人看護学特論	1		2	
			成人看護学演習	1		2	
			老年看護学特論	1		2	
			老年看護学演習	1		2	
			がん病態学	1		2	
			がん看護学特論Ⅰ	1		2	
			がん看護学特論Ⅱ	1		2	
			がん看護学演習Ⅰ	1		2	
			がん看護学演習Ⅱ	1		2	
			がん看護学実習Ⅰ	2		4	
			がん看護学実習Ⅱ	2		2	
			精神看護学特論	1		2	
			精神看護学演習	1		2	
			精神看護対象論	1		2	
			精神看護援助論	1		4	
			精神看護セラピー	1		4	
			精神看護関連法規・制度・政策論	1		2	
			精神看護直接ケア実習Ⅰ	2		2	
			精神看護直接ケア実習Ⅱ	2		2	
			精神看護専門看護師役割実習Ⅰ	1		2	
			精神看護専門看護師役割実習Ⅱ	2		4	
			臨床看護学特別研究	2		8	
			課題研究	2		4	
			小計			74	
			合計		6	146	

(2) 講義・演習・実習の開講科目数

(単位：科目数)

研究科	講義科目	演習科目	実習科目	合計
社会福祉専攻科目	11	8	1	20
心理臨床専攻科目	11	4	3	18
地域教育支援専攻科目	10	7	1	18
看護学専攻科目	32	22	6	60

3. 学生の単位修得状況

(1) 成績評価及び単位認定 (学部・研究科)

単位の修得の認定は、試験の成績および平素の学習状況・出席状況等の総合的な評価によって行われるものであり、単位の修得はこれによって決定される。

単位修得の認定を受けるためには、試験の有無にかかわらず、原則として授業実施回数（補講も含む）の3分の2以上の出席が必要となる。

本学の試験の成績評価は、100点を満点とする次の5段階の評価点で行い、各段階に以下の成績評語及びGP（グレード・ポイント）を当て、60点以上を合格として単位を修得したものと認定する。ただし、大学院はGPを導入していない。

評価点	成績評価	GP	単位の認定
90～100	A	4.0	認定する (合格)
80～89	B	3.0	
70～79	C	2.0	
60～69	D	1.0	
0～59	不可	0.0	認定しない (不合格)
—	未受験	0.0	
—	無資格	0.0	

※未受験：出席は満たしているが、試験を受けなかったこと。

※無資格：出席を満たしていないこと。

学期ごとに、成績評語及び以下の計算式によって獲得GP、GPA及び累積GPAを算出。

$$\text{獲得GP} = (\text{履修登録科目の単位数}) \times (\text{成績評語に対応するGP})$$

当該学期の履修登録科目の獲得GPの総和

$$\text{GPA} = \frac{\text{当該学期の履修登録科目の総単位数}}$$

$$\text{累積GPA} = \frac{\text{前学期までの獲得GPの総和} + \text{当該学期の獲得GPの総和}}{\text{当該学期までの履修登録科目の総単位数}}$$

(GPA、累積GPA：小数点第3位以下切り捨て)

(2) 学部単位修得状況（学科ごとの成績評価と GPA 平均値）

（単位：件数）

H 2 3 年度以前入学者	人間社会学部			看護学部
	公共社会学科	社会福祉学科	人間形成学科	看護学科
A	3,922	5,322	4,054	4,460
B	2,782	2,710	2,713	3,695
C	1,630	1,081	1,157	2,111
D	1,014	595	627	1,232
不可	295	175	160	96
未受験	207	87	71	20
無資格	662	259	386	152
G P A 平均値	2.78	3.18	2.95	2.93

H 2 4 年度入学者	人間社会学部			看護学部
	公共社会学科	社会福祉学科	人間形成学科	看護学科
A	2,451	3,664	3,771	2,888
B	1,937	2,305	1,936	2,334
C	1,180	968	901	1,661
D	730	347	373	1,313
不可	128	30	22	68
未受験	34	28	3	37
無資格	106	45	43	111
G P A 平均値	2.84	3.22	3.27	2.74

H 2 5 年度入学者	人間社会学部			看護学部
	公共社会学科	社会福祉学科	人間形成学科	看護学科
A	2,128	2,354	2,700	2,705
B	1,651	1,538	1,684	2,321
C	953	758	718	1,694
D	660	412	361	1,348
不可	105	40	51	54
未受験	66	11	16	12
無資格	148	49	45	50
G P A 平均値	2.75	3.07	3.16	2.75

H 2 6 年度入学者	人間社会学部			看護学部
	公共社会学科	社会福祉学科	人間形成学科	看護学科
A	1,359	1,860	1,744	2,095
B	828	949	755	1,061
C	468	317	238	636
D	218	138	67	375
不可	41	16	7	28
未受験	6	8	2	0
無資格	20	10	21	8
G P A 平均値	3.06	3.34	3.44	3.10

(3) 大学院単位修得状況（成績評価）

（単位：件数）

H 2 5 年度以前入学者	人間社会学研究科	看護学研究科
A	420	342
B	44	184
C	14	54
D	0	0
不可	0	0
未受験	10	0
無資格	4	18

H 2 6 年度入学者	人間社会学研究科	看護学研究科
A	350	76
B	16	42
C	4	4
D	0	2
不可	0	0
未受験	0	0
無資格	0	0

4. 教員免許状取得者数（高校公民・中学社会・幼稚園教諭・養護教諭）

	H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度
高校公民	5	5	9	8	9
中学社会	—	—	3	5	6
幼稚園教諭	37	34	33	40	27
養護教諭	11	9	10	10	10

5. 保育士資格取得者数

	H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度
保育士	36	34	33	39	27

6. スクールソーシャルワーク教育課程修了者数

	H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度
修了者数	9 (4)	6 (5)	9 (5)	10 (9)	6 (6) ※

() 内は、社会福祉士国家試験合格の後、課程修了証を交付された者の人数

※H26年度の課程修了証交付予定者は、平成27年8月に手続きを行うため確定人数ではない。

7. 社会福祉士・精神保健福祉士 国家試験合格者数

社会福祉士

	福岡県立大学（現役）			全国（現役）		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
H 2 2 年度	53	44	83.0%	43,568	12,255	28.1%
H 2 3 年度	54	44	81.5%	42,882	11,282	26.3%
H 2 4 年度	54	38	70.4%	42,841	8,058	18.8%
H 2 5 年度	51	36	70.6%	45,578	12,540	27.5%
H 2 6 年度	57	45	78.9%	45,187	12,181	27.0%

精神保健福祉士

	福岡県立大学（現役）			全国（現役）		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
H 2 2 年度	13	13	100.0%	7,233	4,219	58.3%
H 2 3 年度	21	20	95.2%	7,770	4,865	62.6%
H 2 4 年度	25	22	88.0%	7,144	4,062	56.9%
H 2 5 年度	12	12	100.0%	7,119	4,149	58.3%
H 2 6 年度	26	23	88.5%	7,183	4,402	61.3%

8. 看護師・保健師・助産師 国家試験合格者数

看護師

	福岡県立大学（現役）			全国（現役）		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
H 2 2 年度	76	75	98.7%	48,509	46,785	96.4%
H 2 3 年度	80	80	100.0%	49,336	46,928	95.1%
H 2 4 年度	72	71	98.6%	51,458	48,413	94.1%
H 2 5 年度	85	83	97.6%	52,914	50,349	95.2%
H 2 6 年度	79	78	98.7%	55,015	52,547	95.5%

保健師

	福岡県立大学（現役）			全国（現役）		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
H 2 2 年度	90	80	88.9%	13,748	12,332	89.7%
H 2 3 年度	95	86	90.5%	14,528	12,963	89.2%
H 2 4 年度	81	78	96.3%	15,136	14,751	97.5%
H 2 5 年度	98	92	93.9%	16,555	14,698	88.8%
H 2 6 年度	80	80	100.0%	15,440	15,381	99.6%

助産師

	福岡県立大学（現役）			全国（現役）		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
H22年度	10	9	90.0%	2,097	2,059	98.2%
H23年度	9	9	100.0%	2,064	1,982	96.0%
H24年度	7	7	100.0%	2,010	1,987	98.9%
H25年度	7	7	100.0%	2,042	1,993	97.6%
H26年度	8	8	100.0%	1,976	1,975	99.9%

9. 社会調査士資格取得者数

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
社会調査士	27	33	19	12	19

10. 上級情報処理士資格取得者数

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
上級情報処理士	35	33	31	29	32

11. 認定心理士資格取得者数

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
認定心理士	0	0	0	0	1

12. 臨床心理士資格取得者数

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
臨床心理士	6	8	8	6	8

13. がん看護専門看護師資格取得者数

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
がん看護専門看護師	1	0	0	0	1

14. 精神看護専門看護師資格取得者数

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
精神看護専門看護師	—	—	—	—	1

※ 平成25年度より卒業生輩出のため（卒業後資格取得可能）

V. 教育の質の向上及び改善の取組

1. FD 活動（学部・研究科）

学部

	テーマ	日時	参加人数
第1回FDセミナー(学生相談室運営部会との共催)	学生支援のための連携	平成26年11月26日(水)	41人
第2回FDセミナー	発達障害を持ちながら生きていくこと	平成26年12月18日(木)	24人
第3回FDセミナー	〈新しい能力〉とその形成・評価をめぐって	平成27年2月26日(木)	34人

研究科

	テーマ	日時	参加人数
第1回 大学院FDセミナー (学部FDセミナーとの共催)	学内講師によるFDセミナー(教員による学外セミナー等の報告会)	平成27年2月4日(水)	37人
第2回 大学院FDセミナー (学部FDセミナーとの共催)	大学院生を伸ばす教育技術とは何かー技術と技能の観点から	平成27年2月6日(金)	33人

2. 教員個人業績評価結果

(1) 趣旨

各教員が自己の一年の活動を再確認し、教育・研究・社会貢献・管理運営活動への貢献を高めること、並びに本学の教育・研究活動等の活性化を通じた本学の使命の高揚を図ること。

(2) 評価の対象分野・ウエイト等

対象分野は①教育、②研究、③社会貢献、④管理運営
対象分野ごとのウエイトは、①教育(60%以上)、②研究(10%~30%)、③社会貢献(5%~10%)、④管理運営(5%~25%)とし、各教員は、4分野を合計して100%とするウエイト申告をするものとする。

(3) 教員個人業績評価

5段階の「評価基準」

A	B	C	D	E
100～91	90～76	75～51	50～31	30以下

評価結果

評価区分	H22 年度分	H23 年度分	H24 年度分	H25 年度分
A	57	57	60	63
B	27	32	27	22
C	10	9	7	2
D	0	0	0	0
E	2	1	1	1

※各年度の教員個人業績評価は翌年度に行うため、H26 年度分は掲載していない。

3. 授業評価アンケート

学部

これは、2014 年度に福岡県立大学で開講された授業について学生による授業アンケートの結果である。2014 年度に人間社会学部と看護学部において開講された 596 科目のうち、回収された授業科目は、513 科目（のべ 17881 名）であった。学部における回収された授業科目の 1 科目あたりの人数の平均と標準偏差は 34.4 ± 29.9 人で、最小値 1 人、最大値 206 人であった。

前期科目は 2014 年 7 月、後期科目は 2015 年 1 月に実施、また一部の科目（集中講義など）については、講義が終了次第実施した。

	質問項目	評価 (平均)
1	この授業は、シラバス・授業科目概要や、授業でのオリエンテーションと一致する内容だった	3.4
2	シラバス・授業科目概要や、最初の授業で成績評価方法は明示されていた	3.4
3	教員の話し方は聞き取りやすかった	3.4
4	教員の指示や、授業での説明のしかたは分かりやすかった	3.3
5	授業のすすめかたは、授業の内容を理解するのに適切な速さだった	3.3
6	板書、スライド、教科書、資料など、授業で示されたものは学習に役立った	3.4
7	教員の指導やアドバイスのタイミングはよかった（実技、実習・演習項目）	2.4
8	教員の指導やアドバイスの内容は役立った（実技、実習・演習項目）	2.4
9	授業中に行う課題やグループ学習は授業の理解に役立った	2.9
10	この授業は、質問や意見を述べやすかった	3.1
11	教員は学生の質問や意見に対応していた	3.3
12	この授業は、予定された時間内（開始時刻と終了時刻）で行われていた	3.5
13	この授業は、学生の理解度や習熟度を確認しながら行われていた	3.2
14	教員は授業時間外の学習に役立つ資料や課題、練習方法を示していた	3.2
15	この授業を受けて前よりも知識やスキルが増えた	3.4
16	この授業は、総合的に満足できるものであった	3.4
17	私は授業を受けるにあたって、シラバス・授業科目概要を活用した	3.0
18	私はこの授業の学習目標をわかったうえで授業を受けた	3.1
19	私はこの授業に熱心に取り組んだ	3.3
20	私はこの授業中に、授業に関係のないことはしなかった	3.2
21	私はこの授業中、他人の居眠り、私語、メールなどが気になった	1.7
22	私は授業時間外に、この授業に関する学習や練習に取り組んだ	3.0
23	私はこの授業の学習の到達目標を達成できた	3.1
24	私はこの実習・演習で、講義で学んだ知識と実践の関連がよくわかった（実習・演習項目）	2.5

評価は1, 2, 3, 4 からなる4段

大学院

これは、2014年度に福岡県立大学大学院で開講された授業について大学院生による授業評価の結果である。下記の項目別の実数は、高い、普通、低いの3段階で、普通以上と回答した人数である。全回答者数は26人であった。

質問項目	質問内容	26年度	
		実数	%
大学院のカリキュラム	①時間割への満足度（高い 普通 低い）	26	100
	②科目同士の関連性への満足度（高い 普通 低い）	24	92.3
	③教員同士の連携への満足度（高い 普通 低い）	24	92.3
シラバス（履修の手引き）	①シラバスを授業選択や学習の参考にしたか（した しなかった）	22	84.6
	②成績評価基準が明確に示されていたか（いる いらない）	23	88.5
授業（講義・演習）	①授業方法への満足度（高い 普通 低い）	26	100
	②受講人数に関する満足度（高い 普通 低い）	23	88.5
	③授業内での配布資料に関する満足度（高い 普通 低い）	26	100
	④授業課題に対する満足度（高い 普通 低い）	26	100
	⑤授業内での対話・議論に関する満足度（高い 普通 低い）	25	96.2
実習 （選択者のみ回答） H26：19名	①実習時期・期間への満足度（高い 普通 低い）	18	94.7
	②実習指導への満足度（高い 普通 低い）	18	94.7
	③実習評価方法への満足度（高い 普通 低い）	18	94.7
修士論文作成・研究	①指導体制への満足度（高い 普通 低い）	25	96.2
	②指導方法への満足度（高い 普通 低い）	24	92.3
総合評価	満足度（高い 普通 低い）	25	96.2

VI. 入試

1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

(1) 学部別入学者受入方針

「福岡県立大学は、あなたを求めています。」

何のために大学に入りますか。

学ぶために大学生になってください。

そして大学生活を楽しんでください。

そんな前向きな人を求めています。

困っているひとをみかけて声をかけられますか。

ひとのために働ける人、それを喜びと感じられる人を求めています。

最近何かに感動したことはありますか。

その感動を伝えることができますか。

伝えることの大切さが分かる人を求めています。

今住んでいるまちのことをどのくらい知っていますか。

まちと暮らしに関心をもてる人を求めています。

「生きている」と実感したことはありますか。

「生きていること」に関心をもとうという人を求めています。

人間社会学部

- 1 高等学校等で履修した主要教科・科目について、基礎的な知識を有している人
- 2 与えられた情報をテーマに即して結びつけることができる人
- 3 物事をさまざまな角度から考察し、自らの考えをまとめることができる人
- 4 自らの考えをわかりやすく表現することができる人
- 5 自らの目標に向かって、自律的にステップアップしようとする積極性をもっている人
- 6 現代における、人間と社会に関わる重要な課題に関心をもっている人
- 7 自らの考えを適切な日本語表現を使い、道筋を立てて伝えることができる人
- 8 英語による基礎的なコミュニケーションをすることができる人

看護学部

- 1 高等学校等で履修した主要教科・科目について、基礎的な知識を有している人
- 2 人の健康や生活について、さまざまな角度から考察し、自らの考えをまとめることができる人
- 3 物事に対して積極的、かつ、自律的に取り組みたいという姿勢が見られる人
- 4 人の健康と生活を取り巻く諸問題に関心を持っている人
- 5 自らの考えを適切な日本語表現を使い、道筋を立てて伝えることができる人
- 6 人の話を聞いて、まとめたり、展開したりすることができる人

(2) 研究科別入学者受入方針

人間社会学研究科

現在、少子・高齢化、地方分権化、自己実現要求の高まりに伴って、地域政策、福祉政策、地域教育、対人援助に関わる高度な専門的知識・技術を持った職業人が必要とされてきています。本研究科では、とくに、これらの専門知識を統合させ、地域社会において高度福祉社会の実現に向けて貢献できる人材を養成しようとしています。

そこで、学部教育を基礎として、より一層の専門性を持った人材を養成するとともに、職業人のリカレント教育の要請に応えることを目指し、3つの専攻を設置しています。このため、本研究科では、次のような大学院生を求めています。

1. 専門分野における国内外の論文の読解力を有している人
2. 専門分野において大学卒業程度の知識を有している人
3. 専門分野の知識をもとに研究の見通しを立てることができる人
4. 専門分野の知識をもとに新たな展開を表現できる人
5. 専門分野に関心と問題意識を持っている人
6. 高度福祉社会の実現のために、積極的に専門性を身につけ、役立てたいと考えている人
7. 専門分野に関して自らの考えを論理的に伝えるためのスキルを有している人
8. フィールドワークや学外施設実習に必要なコミュニケーションスキルを有している人

看護学研究科

本研究科では以下に記すような向学心のある方を求めています。

1. 看護学の基礎的知識を有している人
2. 専門分野の基礎的知識を有している人
3. 専門分野における国内外の論文の読解力を有している人
4. 専門分野の知識をもとに研究の見通しを立てることができる人
5. 研究計画もしくは志願理由について論理的に他者に伝えることができる人
6. 専門分野に関心と問題意識をもっている人
7. 専門性をより高め保健医療福祉社会に貢献したいという意思を有している人
8. 看護実践に必要なコミュニケーションスキルを有している人

2. 入学者選抜方法

(1) 学部別入学試験種別と試験科目

人間社会学部

○推薦入試概要

区 分		推薦入試
募集人員	公共社会学科	10人（うち福岡県内 6名、県外4名）
	社会福祉学科	15人（うち福岡県内10名、県外5名）
	人間形成学科	15人（うち福岡県内10名、県外5名）
試験科目	個別学力試験	小論文 200点（10：00～11：30 90分） 英語 200点（12：30～14：00 90分） 面接 50点（14：15～） 調査書 50点（全体の評定平均値×10） 教科外活動 5点（社会的活動、スポーツ活動、文化活動等）
出願期間		平成26年11月1日（土）～平成26年11月10日（月）17時必着
試験日		平成26年11月22日（土）
合格発表		平成26年12月8日（月）

○一般選抜概要

区 分		前期日程	後期日程
募集人員	公共社会学科	30人	10人
	社会福祉学科	25人	10人
	人間形成学科	25人	10人
試験科目	センター試験	国語 200点 公民及び地理歴史から1科目 100点 数学I・数学A *（旧数学I・旧数学A） 100点 外国語（英語・リスニングを含む） 200点 （筆記200点を150点に換算し、リスニング50点を加点）	
	個別学力試験	小論文 200点（10：00～12：00 120分）	
出願期間		平成27年1月26日（月）～平成27年2月4日（水）17時必着	
試験日		平成27年2月25日（水）	平成27年3月12日（木）
合格発表		平成27年3月6日（金）	平成27年3月23日（月）

*旧教育課程履修者選択可能

○社会人特別選抜概要

区 分		社会人
募集人員	公共社会学科	若干名
	社会福祉学科	
	人間形成学科	
試験科目	個別学力試験	小論文 200点（10：00～11：30 90分） 英語 100点（12：30～14：00 90分） 口頭試問 100点（14：15～）
出願期間		平成26年11月1日（土）～平成26年11月10日（月）17時必着
試験日		平成26年11月22日（土）
合格発表		平成26年12月8日（月）

○国外就学経験者（帰国生）特別選抜概要

区 分		国外就学経験者（帰国生）
募集人員	公共社会学科	若干名
	社会福祉学科	
	人間形成学科	
試験科目	個別学力試験	小論文 200点（10:00～11:30 90分） 口頭試問 100点（12:30～）
出願期間		平成26年11月1日（土）～平成26年11月10日（月）17時必着
試験日		平成26年11月22日（土）
合格発表		平成26年12月8日（月）

○留学生特別選抜概要

区 分		留学生
募集人員	公共社会学科	若干名
	社会福祉学科	
	人間形成学科	
試験科目	個別学力試験	小論文 200点（10:00～11:30 90分） 口頭試問 100点（12:30～）
出願期間		平成26年11月1日（土）～平成26年11月10日（月）17時必着
試験日		平成26年11月22日（土）
合格発表		平成26年12月8日（月）

○転・編入試験概要

区 分		転・編入学	編入年次
募集人員	公共社会学科	若干名	第3年次
	社会福祉学科		
	人間形成学科		
試験科目	個別学力試験	小論文 200点（10:00～11:30 90分） 英 語 200点（12:30～14:00 90分） 口頭試問 100点（14:15～）	
出願期間		平成26年11月1日（土）～平成26年11月10日（月）17時必着	
試験日		平成26年11月22日（土）	
合格発表		平成26年12月8日（月）	

看護学部

○推薦入試概要

区 分		推薦入試
募集人員	看護学部看護学科	30人（うち県内20人、県外10人）
試験科目	個別学力試験	小論文 200点（10：00～12：00 120分） 面接 50点（13：00～） 調査書 50点（全体の評定平均値×10） 教科外活動 5点（社会的活動、スポーツ活動、文化活動等）
出願期間		平成26年11月1日（土）～平成26年11月10日（月）17時必着
試験日		平成26年11月22日（土）
合格発表		平成26年12月8日（月）

○一般選抜概要

区 分		前期日程	後期日程
募集人員	看護学部看護学科	50人	10人
試験科目	センター試験	国語 前期：100点 後期：200点 数学Ⅰ・数学A *（旧数学Ⅰ・旧数学A） 前期：100点 後期：50点 数学Ⅱ・数学B *（旧数学Ⅱ・旧数学B） 前期：100点 後期：50点 物理基礎、化学基礎、生物基礎から2科目、または物理、化学、生物から1科目 *（理科総合A・理科総合B・物理Ⅰ・生物Ⅰ・化学Ⅰから1科目） 前・後期：100点 外国語（英語・リスニングを含む。）前・後期：200点（筆記200点、リスニング50点、 合計250点を200点に換算。）	
	個別学力試験	小論文 200点 （10：00～12：00 120分）	小論文 200点 （10：00～12：00 120分）
出願期間		平成27年1月26日（月）～平成27年2月4日（水）17時必着	
試験日		平成27年2月25日（水）	平成27年3月12日（木）
合格発表		平成27年3月6日（金）	平成27年3月23日（月）

*旧教育課程履修者選択可能

○社会人特別選抜概要

区 分		社会人
募集人員	看護学部看護学科	若干名
試験科目	個別学力試験	小論文 200点（10：00～12：00 120分） 面接 50点（13：00～）
出願期間		平成26年11月1日（土）～平成26年11月10日（月）17時必着
試験日		平成26年11月22日（土）
合格発表		平成26年12月8日（月）

(2) 研究科別入試選抜試験科目

人間社会学研究科

○募集概要

区 分		秋季日程	春季日程
募 集 人 員	社会福祉専攻	6名	秋季日程で定員を満たさなかった場合募集
	心理臨床専攻	6名	
	地域教育支援専攻	3名	
試 験 科 目	個別学力試験	外国語(注1) : 英 語 専 門 科 目 : 専攻に関するもの 口 頭 試 問 : あらかじめ提出した研究計画書に基づく	
出願期間		平成26年9月26日(金)～ 平成26年10月03日(金)17時必着	平成27年1月16日(金)～ 平成27年1月23日(金)17時必着
試験日		平成26年10月18日(土)	平成27年2月7日(土)
合格発表		平成26年10月24日(金)	平成27年2月13日(金)

注1：社会人に関しては、英語の代わりに小論文を選択することができます。

看護学研究科

○募集概要

区 分		秋季日程	春季日程
募 集 人 員	看護学専攻	12名	秋季日程で定員を満たさなかった場合募集
試 験 科 目	個別学力試験	外 国 語 : 英 語 専 門 科 目 : 専門領域及び専門分野に関するもの 口 頭 試 問 : あらかじめ提出した研究計画書に基づく 研究コース 面 接 : 個人面接方式 専門看護師コース 助産実践形成コース 助産実践アドバンスコース	
出願期間		平成26年9月26日(金)～ 平成26年10月03日(金)17時必着	平成27年1月16日(金)～ 平成27年1月23日(金)17時必着
試験日		平成26年10月18日(土)	平成27年2月7日(土)
合格発表		平成26年10月24日(金)	平成27年2月13日(金)

3. 入試実績

(1) 2015 (平成 27) 年度 学部入学試験状況 (区分別・志願者数・受験者数・合格者数・入学者数・志願倍率・実質倍率・定員充足率)

区分	定員 (A)	志願者 (B)		受験者 (C)		合格者 (D)		入学者 (E)		志願倍率 (B) / (A)	実質倍率 (C) / (D)	定員充足率 (E) / (A)							
		男	女	男	女	男	女	男	女										
人間社会学部	推薦	県内	公共社会学科	6	8	5	3	8	5	3	7	5	2	7	5	2	1.3	1.1	1.2
			社会福祉学科	10	18	3	15	18	3	15	10	1	9	10	1	9	1.8	1.8	1
			人間形成学科	10	22	3	19	22	3	19	10	1	9	10	1	9	2.2	2.2	1
		小計	26	48	11	37	48	11	37	27	7	20	27	7	20	1.8	1.8	1	
		県外	公共社会学科	4	7	5	2	7	5	2	3	2	1	3	2	1	1.8	2.3	0.8
			社会福祉学科	5	26	4	22	26	4	22	5	0	5	5	0	5	5.2	5.2	1
	人間形成学科		5	23	2	21	23	2	21	5	1	4	5	1	4	4.6	4.6	1	
	小計	14	56	11	45	56	11	45	13	3	10	13	3	10	4	4.3	0.9		
	合計	40	104	22	82	104	22	82	40	10	30	40	10	30	2.6	2.6	1		
	一般入試	前期	公共社会学科	30	146	53	93	139	51	88	47	11	36	34	11	23	4.9	3	1.1
			社会福祉学科	25	111	21	90	109	21	88	37	6	31	31	5	26	4.4	2.9	1.2
			人間形成学科	25	140	21	119	136	21	115	39	8	31	33	8	25	5.6	3.5	1.3
		小計	80	397	95	302	384	93	291	123	25	98	98	24	74	5	3.1	1.2	
		後期	公共社会学科	10	198	74	124	83	30	53	20	5	15	11	3	8	19.8	4.2	1.1
社会福祉学科			10	142	44	98	66	18	48	14	3	11	6	2	4	14.2	4.7	0.6	
人間形成学科	10		143	25	118	59	8	51	13	1	12	10	1	9	14.3	4.5	1		
小計	30	483	143	340	208	56	152	47	9	38	27	6	21	16.1	4.4	0.9			
合計	110	880	238	642	592	149	443	170	34	136	125	30	95	8	3.5	1.1			
社会人	公共社会学科	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—		
	社会福祉学科	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—		
	人間形成学科	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—		
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—			
留学生特別選抜	公共社会学科	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—		
	社会福祉学科	若干名	3	2	1	3	2	1	0	0	0	0	0	0	—	—	—		
	人間形成学科	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—		
合計		3	2	1	3	2	1	0	0	0	0	0	0	—	—	—			
転編入試験	公共社会学科	若干名	4	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	—	—	—		
	社会福祉学科	若干名	3	2	1	2	1	1	1	0	1	1	0	1	—	—	—		
	人間形成学科	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—		
合計		7	4	3	4	2	2	1	0	1	1	0	1	—	—	4			
海外修学経験者(帰国生)	公共社会学科	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—		
	社会福祉学科	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—		
	人間形成学科	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—		
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—			
公共社会学科 計	50	363	139	224	239	92	147	77	23	54	55	21	34	7.3	3.1	1.1			
社会福祉学科 計	50	303	76	227	224	49	175	67	10	57	53	8	45	6.1	3.3	1.1			
人間形成学科 計	50	328	51	277	240	34	206	67	11	56	58	11	47	6.6	3.6	1.2			
人間社会学部 合計	150	994	266	728	703	175	528	211	44	167	166	40	126	6.6	3.3	1.1			
看護学部	推薦	県内	20	48	2	46	48	2	46	20	0	20	0	20	2.4	2.4	1		
		県外	10	71	8	63	71	8	63	10	0	10	0	10	7.1	7.1	1		
	合計	30	119	10	109	119	10	109	30	0	30	0	30	4	4	1			
	一般	前期	50	205	22	183	197	21	176	76	5	71	57	3	54	4.1	2.6	1.1	
		後期	10	136	10	126	59	5	54	10	0	10	5	0	5	13.6	5.9	0.5	
	合計	60	341	32	309	256	26	230	86	5	81	62	3	59	5.7	3	1		
社会人	若干名	11	3	8	11	3	8	3	0	3	0	3	0	3	—	3.7	—		
看護学部 合計	90	471	45	426	386	39	347	119	5	114	95	3	92	5.2	3.2	1.1			
両学部 合計	240	1,465	311	1,154	1,089	214	875	330	49	281	261	43	218	6.1	3.3	1.1			

(1) 2015（平成27）年度 学部出身地別入学者数

学部	人間社会学部	看護学部		人間社会学部	看護学部		人間社会学部	看護学部
北海道	1		石川県		1	岡山県	2	
青森県			福井県	1		広島県	6	5
岩手県			山梨県			山口県	7	1
宮城県			長野県			徳島県	1	
秋田県			岐阜県			香川県		
山形県			静岡県	3		愛媛県	5	
福島県			愛知県	1		高知県		
茨城県	1		三重県	1	1	福岡県	85	61
栃木県			滋賀県			佐賀県	4	4
群馬県			京都府	1		長崎県	8	5
埼玉県			大阪府		1	熊本県	5	3
千葉県			兵庫県			大分県	8	4
東京都			奈良県			宮崎県	4	2
神奈川県			和歌山県		1	鹿児島県	15	5
新潟県	1		鳥取県			沖縄県	4	1
富山県			島根県	2				

(2) 2015（平成27）年度. 大学院入学試験状況（志願者数・受験者数・合格者数・入学者数・受験倍率・定員充足率）

区分	定員 (A)	志願者 (B)		受験者 (C)			合格者 (D)		入学者 (E)			志願倍率 (B) / (A)	実質倍率 (C) / (D)	定員充足率 (E) / (A)			
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
人間社会学 研究科	社会福祉専攻	6	6	1	5	6	1	5	4	1	3	4	1	3	1	1.5	0.7
	心理臨床専攻	6	25	11	14	24	11	13	9	4	5	8	3	5	4.2	2.7	1.3
	地域教育支援専攻	3	2	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0.7	—	—
合計	15	33	13	20	31	12	19	14	5	9	12	4	8	2.2	2.2	0.8	
看護学研究科	看護学専攻	12	15	0	15	14	0	14	10	0	10	10	0	10	1.3	1.4	0.8
両研究科 合計		27	48	13	35	45	12	33	24	5	19	22	4	18	1.8	1.9	0.8

4. 入試広報

入試説明会・高校訪問・オープンキャンパス等 実績

区分	開催回数	参加人数	場所
高校訪問	13	840	東鷹高校・中間高校など
入試説明会	11	199	電気ビル・ホテル熊本日航など
オープンキャンパス	3	1,402	本学
出前講義	30	1,302	小倉南・北筑・青豊など
高校訪問（来学）	17	348	本学
出前講義（来学）	1	40	本学
意見交換会	1	9	本学
合計	77	4,140	

VII. 学生支援

1. 学生に対する経済面の援助

(1) 奨学金受給実績

	在学生数 (A)	学内制度	学外制度					合計 (B)	受給学生の割合 (%) (B) / (A)
		和田奨学 基金	日本学生 支援機構 (第1種)	日本学生 支援機構 (第2種)	福岡県 教育文化 奨学財団	その他 各自治体 奨学金	その他		
学部生	1,030	1	293	374	0	6	13	687	66.7%
大学院生	49	0	5	4	0	1	1	11	22.4%
合計	1,079	1	298	378	0	7	14	698	64.7%

(2) 授業料減免実績

区分		申請者数 (A)	基準該当者数	免除者数 (B)	割合 (%) (B) / (A)
前期	全額免除	36	27	27	75.0%
	半額免除	42	34	34	81.0%
後期	全額免除	56	37	37	66.1%
	半額免除	42	35	35	83.3%

(3) 授業料分割納付実績

区分	学部生	大学院生	合計
前期	29	3	32
後期	27	1	28

(4) 学生寮の整備状況及び利用実績

区分	定員	利用者数※	形態	使用料	雑費	共益費 (入寮時)	入寮期間
すずかけ寮	60	52人	2人部屋	4,300円	7,700円	30,000円	原則2年
アザレア寮	99	99人	個室	11,000円	6,500円	30,000円	原則1年

※平成26年5月1日現在

2. 学生に対する生活支援（生活、健康、就職等進路、各種ハラスメント等）

(1) 保健室利用実績

処置内容	件数	処置内容	件数
与薬	59	血圧測定	54
外科的応急処置	41	検尿	33
整形外科的応急処置	30	医療機関紹介	52
ベッド休養	105	病院移送	3
身体計測	54	学生相談紹介	19
アルコールパッチテスト	73	その他	35
合計	558	件	

(2) 学生相談室利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	15	25	24	32	7	2	39	39	36	36	21	3	279

(3) GPAに基づいた学習支援対象者数

学部	前期	後期	合計
公共社会学科	34	23	57
社会福祉学科	7	3	10
人間形成学科	6	6	12
看護学科	21	12	33
合計	68	44	112

(4) 課外・サークル活動概要

ボランティア系：11

サークル名	活動概要	部員数
湯山荘ボランティアサークル	児童養護施設「湯山荘」において、月曜日は、小学5・6年生対象の学習ボランティア、土曜日は、3～8歳くらいまでの幼児さんたちと一緒に遊ぶ活動を行っています。	40
障害児ボランティアサークル つくしんぼ	障害を持つ子供たちを大学に招いてゲームを楽しむ余暇支援活動を行っています。その他にも、地域の施設で開催される行事に参加しサポートするなど、様々な活動を行っています。	25
OTTつと（おつとつと）	OTTつと（おつとつと）は、おもちゃ としょかん たがわの略称です。子どもと遊ぶボランティアサークルです。発達の良い子どもや乳幼児を対象に、研究所内のおもちゃ図書館を遊び場として提供しています。また、保護者との集いの場であり、おもちゃの貸し出しも行っていきます。	37
ハンドポスト	手話啓発活動サークルです。聴覚障害のある方とのコミュニケーションを図ったり、イベントで『手話コーラス』を披露したりしています。	66
ボランティアサークル だんごだん	高齢者施設でボランティアを行っています。少人数で活動も不定期ですが、個人が楽しみながら利用者様と交流しています。	11
たけのこサークル	月に1回の託児ボランティアを行っています。一緒に遊ぶ子どもたちはいつも楽しそうで、やりがいを感じています。飯塚市社会福祉協議会と関わりながら活動しています。	14
てんぶらあいす	心の病を持つ方々と楽しく交流するボランティアサークルです。活動拠点は「地域活動支援センター 相談支援事業ゆう」と「一本松すずかけ病院」です。他には、社会福祉協議会や社会貢献ボランティアセンター等からのボランティアにも参加させて頂いています。	21
献血推進サークル	月に一度、所属している北九州ブロックの大学が集まり、赤十字社で定例会を行っています。そこで今後の方針を決め、夏・冬に行う街頭献血、学内献血、5月の博多どんたくに参加します。夏前には、県内所属大学全員で合宿を行い、若年層に向けて献血啓発活動を行っていくうえでの目標や知識を深めます。	27
福岡県立大学BBS	非行傾向にある子どもたちと関わりを持ち、一緒に活動しているボランティアサークルです。主な活動として、NPO法人「田川ふれ愛塾」への訪問ボランティアを行っています。毎月1回定例会を開き、活動の報告などを行っています。	10
Ch-Link	国際協力を軸に活動します。大学を越えた交流を図っています。TICADV学生プロジェクトに参加しています。	5
ネイチャースクール	NPO法人青少年体験教育活動協会に参加して、大学生が主体となって企画・運営を行い、子どもたちと自然体験をするボランティアサークルです。	13

体育会系：15

サークル名	活動概要	部員数
空手道部	基本練習や筋トレが中心です。部員のほとんどが初心者なので、教え合いながら練習しています。ちょっと運動してみたい方やダイエットしたい方も一緒に身体を動かしてみませんか？	10
男子バスケットボール部	体育館における練習では、基本的な練習メニューから、試合に向けた応用練習まで、キャプテンを中心に皆で一丸となって楽しく活動しています。また、地域の試合にも積極的に参加し、多くの方々と交流させてもらっています。新チームになったので、今まで以上に団結して頑張っていきます。	27

サークル名	活 動 概 要	部員数
女子バスケットボール部	火・木・土曜の週3回の練習に加え、公式戦や練習試合などもあり、真面目に楽しく練習しています。	44
硬式テニス部	週3回、13時からヤル気のある部員たちが笑顔でコートを駆け回っています。 ”仲の良いサークルトップ5”には確実にランクインすると思います！	53
ソフトテニス部	毎週、月・火・木・土と活動しています。初心者でも気軽にテニスができ、ワイワイやっているのでとても楽しく明るい部活です。試合にも出たり、ボランティアをやったりもしていて、積極的に参加しています。	32
男子サッカー部	水曜・土曜の週2度の練習、練習試合、インカレやリーグ戦への出場に向けて頑張っています。	21
女子サッカー部	毎週火曜日、週1回のペースで県立大学のグラウンドを利用して練習しています。初心者から経験者までいますが、初心者に合わせて練習を行い、楽しくサッカーの技術を身に付けて貰うことをモットーとしています。女子サッカー部は本当に個性豊かでみんな仲良く、楽しいサークルです。	52
男子バレーボール部	週3回(月・水・金)、充実した練習を行い、インカレやリーグ戦にも参加しています。	19
女子バレーボール部	毎週月・水・金曜日に体育館で活動しています。練習時間は4時間を男子バレー部と半分ずつ使ってやっています。初心者から経験者と一緒に楽しく活動しています。	33
硬式野球部	キャッチボール、バッティング、ノック、ティー、ペーラン… リーグ戦に向け、一生懸命練習に取り組んでいます！	23
軟式野球部	男女問わず野球が好きの人が集まっているので、みんな仲が良いサークルです。	46
バドミントン部	素敵な先輩・後輩に恵まれた素晴らしいサークルです。活動内容は、まだまだ試行錯誤している最中ですが、経験者も未経験者も関係なく、全員が楽しめるような雰囲気づくりに努めていきます。	35
水泳部 筋魚	夏は体育館屋上の学内プールで、シーズンオフは学外のプールで泳ぎ、体育館でも軽い運動をしています。	14
卓球サークル ~ピンポピン~	健康維持・増進のために、卓球を通じて健康づくりに努めます。	14
英彦山FC	学内の体育館にて、みんなで楽しくフットサルをしています。	45

文化系：17

サークル名	活 動 概 要	部員数
茶道部	お茶のお稽古(表千家)と着付けのお稽古を中心に毎週活動をしています。秋の大学祭では、外部のお客さまを呼んでお茶会を開きます。その他にも初釜や七夕茶会など、内輪で楽しむイベントも行っていますよ。茶道の免許を取ることもできます。お茶を始めてみませんか？初心者の方も大歓迎です。	22
美術部	初心者も経験者も大歓迎です！合同展や砂アートなど、みんなで仲良く活動しています。	10
文芸部	毎年大学祭で配布する『部誌』を完成させるために日々活動していますが、毎回部員を集めて作品評価をしているわけではありません。自分のペースで自分の好きな時に創作活動をしています。経験者も未経験者も気軽に入部できるサークルです。	7
二次研	アニメや漫画等を通して自由に話し合うサークルです。	32
aimit	みんなでイラストを描いています。和気あいあいと活動しています。	7
Miss Standard* (手芸サークル)	自分の好きなものを作る手芸サークルです。主な活動は、作り貯めたハンドメイド作品を大学祭で販売することです。シュシュやティッシュケース、ピアスほか色々作っています。作り方の練習会なども行います。	9
ジャズ研究サークル	大学祭のステージ、新歓ライブ、クリスマスコンサートを通して、日頃の練習の成果を聴いて貰っています。地域のイベントから演奏依頼がくることもあり、大学以外でも演奏する機会は多いです。Jazzは難しいジャンルですが奥が深く、たくさんの魅力があり、初心者から始めた人も楽しく活動しています。	42
軽音楽サークル 「万屋」	月に1回程度ライブしてます！イベントなどの音響手伝いもしてます！みなさん、ライブに遊びに来て下さい！	78
福岡県立大学吹奏楽団	毎週 月・水・金曜日に音楽室にて練習しています。個人やパート練習をしたり、合奏をしたりして充実した時間を過ごしています。初心者も経験者もみんなで楽しく活動しています。	31

サークル名	活 動 概 要	部員数
創作芸能研究部 (CDR21)	九州工業大学・社会人との合同サークルで、地域活性化を目指しているパフォーマンス団体です。『創作炭坑節』という看板を背負いながら、主に学外の舞台で、様々な方から依頼を受けて出演させて頂いています。夏から秋にかけては、多くのお祭にも参加します。週2回の練習では、出演のためにメンバーで楽しく練習をしています。1年生は、5月の神幸祭でデビューします。テレビ出演や県外での出演をしたこともあります。	28
HIP HOP ダンスサークル	サークル内で各自チームを組み、ダンスイベントへの参加、大学祭のステージ参加をしています。毎週月・水・木に体育館2階のダンスフロアでイベントやショーに向け、練習しています。いつも元気に楽しく練習しているので、笑いの絶えないサークルです。	50
Eチャンネル (ESS)	卒業、または進学までに、TOEICで点数をとりたい人が集まって、日々楽しく勉強してます！	22
漬物道場	旬の野菜を使用して漬物を漬けたり、メンバーで季節ごとにイベントを考え、活動するサークルです。四季を楽しみたい、何か斬新なことをやってみたい、と思う人にオススメです。	7
魔女のさんぼみち	庭(4号館と5号館の間のハーブ園)でハーブを育て、収穫し、自分のため、大切な誰かのため、暮らしの中で役立てることが目標です。無理をせず、時間をかけて共に庭を育てていきましょう。 *月の最終火曜日は、茶話会。 *不定期でイベントやワークショップを。	29
アジア文化交流会	本学に留学している中国、韓国人留学生と一緒に楽しく交流するサークルです。互いの国について教え合ったり、レクリエーションをしたりして、楽しく活動しています。	8
テーブルゲーム愛好会	テーブルの上で行う あらゆるゲームを楽しむ会です。 (例：トランプ、オセロ、将棋、ビリヤード、卓球、麻雀、チェス… その他 テーブルの上でできるゲームなら何でも可)	9
沖縄県人会	沖縄のことをより知って、魅力をアピールするために、活動しています。他県の人でも、沖縄をより好きになってもらえるよう、参加可能です。	9

(5) キャリアサポートセンター利用人数実績

	人間社会学部	看護学部	合計
1年生	5	0	5
2年生	0	0	0
3年生	246	4	250
4年生	446	188	634
既卒	0	0	0
合計	697	192	889

(6) 就業力向上支援室活動概要

表1 インターンシップの実績

	プレ・インターンシップ	中長期・実践型 インターンシップ	インターンシップ
学生数	63名	4名	6名
受入企業	39件	3件	2件

表2 研修会、報告会等の実績

研修会等	回数
系統的キャリア支援研修会	6
教職員、学生に向けてのキャリア支援研修会	2
プレ・インターンシップグループディスカッション・グループ報告会	各1
インターンシップ報告会	1
中長期・実践型インターンシップに関するワークショップ	3
中長期・実践型インターンシップに関する合同コーディネーター研修会	2
実践型インターンシップ受入企業との情報交換会	1
実践型インターンシップ合同事前研修会・中間報告会・最終報告会	各1

表3 報告書等成果物について

成果物	発行数
マイキャリアポケット（社会貢献活動記録帳）	850
インターンシップ報告書	1,000
学生の就業力に関するアンケートを集計結果（学生へ返却）	606
インターンシップグループ報告書	600
パンフレット（中長期・実践型インターンシップ推進と教育的な指導体制の構築）	1,500
リーフレット（中長期・実践型インターンシップ推進と教育的な指導体制の構築）	3,000
活動報告書（中長期・実践型インターンシップ推進と教育的な指導体制の構築）	400
実践型インターンシップ体験学生が作成した「就活生のためのガイドブック」	1,200

(7) インターンシップ参加者数及び派遣企業・団体数

	参加者数	派遣企業・団体数	派遣先
H25年度	17	16	田川市役所、西日本鉄道株式会社など
H26年度	20	17	田川市役所、九州海外協力協会など

(8) 支援を必要とする学生数

	人間社会学部	看護学部	人間社会学研究科	看護学研究科
障害のある学生	1	0	1	0
留学生	2	0	1	0
社会人学生	0	0	5	21
合計	3	0	7	21

(9) 留学生ビジット状況

ホームビジット先	留学生の出身大学	人数	期間
田川市	南京師範大 大邱韓医大	10	H26. 12. 30及びH27. 1. 3

(10) 留学生支援事業実施状況

実施日	行き先	事業内容
平成26年5月30日	英彦山	田川の歴史と文化を学ぶ
平成26年6月20日	飯塚市内	筑豊地区の他大学の留学生等とのネットワークを広げる
平成26年7月19日	北九州市いのちの旅博物館ほか	九州とアジアの歴史的関わりについて学ぶ
平成26年10月25日	小石原、日田豆田地区	大陸伝来の陶芸を体験するとともに、日本的な古い町並みを見学
平成27年1月24日	九州国立博物館ほか	アジア史的視点から、九州の文化を考える

(11) 社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験の受験対策実施状況

受験対策内容	回数	参加延人数
先輩との交流会	2	140
模試	2	107
受験対策講座	23	963

(12) 看護師・保健師国家試験の受験対策実施状況

受験対策内容	回数	参加延人数
補講	看護師 6、保健師 6	972
模試	看護師 6、保健師 6、助産師 5	805

(13) 公務員講座実施状況

	H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度
授業回数	70回	70回	70回	70回/148回	70回/110回
登録者人数	47名	62名	68名	52名/17名	38名/32名

平成25年度より2年生向けの対策<基礎>講座/3年生向けの対策講座の2コースになっています。

(14) 就職対策講座実施状況

	H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度
回数	2回	1回	3回	3回	3回
参加者数	20名	69名	36名	35名	25名

VIII. 施設・設備

1. 講義室等の設置状況

区分	講義室	演習室	実験実習室	情報処理 学習施設	語学学習 施設
1号館	7	1	2		
2号館	1				
3号館	7	9	4	1	1
4号館	2	1	4	1	
5号館	8	10	4		
その他	1				
計	26	21	14	2	1

2. 施設・設備のバリアフリー化状況

	スロープ	階上階用 エレベーター	多目的トイレ	点字ブロック
1号館	設置	設置	4ヶ所	
2号館	設置	設置		
3号館	設置	設置	2ヶ所	
4号館	設置	設置	4ヶ所	
5号館	設置	設置	4ヶ所	
管理棟・講堂・大講義室	設置	設置	5ヶ所	設置
図書館	設置	設置	2ヶ所	設置
体育館・プール	設置		1ヶ所	
福利厚生棟	設置		1ヶ所	
附属研究所	設置	設置	1ヶ所	
心理学実験棟	設置			

3. 自主的な学習活動が可能な施設

施設一覧	
・ 1号館1階 自由閲覧室	・ 図書館（本館・分館（4号館1階））
・ 1号館1階 国家試験対策室（3室）	・ 3号館2階3211自習室
・ 5号館2階 自習室（5室）	

4. 自由閲覧室利用状況（利用者数）

時間帯	H22年度		H23年度		H24年度		H25年度		H26年度	
	8:45~17:00	17:00~21:00	8:45~17:00	17:00~21:00	8:45~17:00	17:00~21:00	8:45~17:00	17:00~21:00	8:45~17:00	17:00~21:00
年間延べ人数	1,179	620	1,142	768	1,618	860	1,684	954	1,575	907

5. ICT環境（情報処理センター）

(1) 情報処理学習施設

区分	パソコン台数	利用曜日	時間
情報処理教室 1	64	月～金	8:30～20:00
情報処理教室 2	54	月～金	8:30～20:00

(2) 無線 LAN アクセスポイント

建物設置箇所	建物設置箇所	
1号館	1階	2箇所（キャンパススクール、学生談話室）
	2階	2箇所（公共社会学科学生研究室、1222 講義室）
	3階	3箇所（心理臨床大学院生研究室、社会福祉大学院生研究室（2部屋））
	4階	1箇所（1410 栄養実習室）
2号館	1階	1箇所（2101 講義室）
3号館	1階	7箇所（3102 演習室、3103 演習室、3104 演習室、3105 演習室、3107 非常勤講師室、3109 講義室、キャリアサポートセンター）
	2階	10箇所（3201 演習室、3205 演習室、3208 演習室、3202 講義室、3203 講義室、3204 講義室、3207 講義室、3212 講義室、3206 社会調査実習室、3211 自習室）
	3階	2箇所（3317LL 教室、3319 講義室）
4号館	3階	1箇所（4302（学生実験室））
	4階	3箇所（会議室、廊下2箇所）
5号館	2階	4箇所（廊下）
	3階	4箇所（5301 実習室Ⅳ、5302 実習室Ⅲ、5303 実習室Ⅱ、5304 実習室Ⅰ）
	4階	5箇所（小会議室、廊下4箇所）

講堂管理棟	1階	1箇所（廊下）
	2階	1箇所（廊下）
心理学実験棟	1階	1箇所（心理教育相談室）
附属図書館	1階	1箇所（自由閲覧室）
	2階	1箇所（閲覧室）
福利厚生棟	1階	1箇所（食堂）

6. 図書館

(1) 施設・職員、開館時間

区分		本館		看護学部分館	
		開館	閉館	開館	閉館
通常期間 （下記を除く期間）	平日	8:45	20:00	8:45	22:00
	土曜日	8:45	17:00	8:45	21:00
	日曜日・祝日	休館	休館	9:00	17:00
1月4～9日 3月1～31日 8月11日～9月30日 12月24～29日	平日	8:45	17:00	8:45	17:00
	土曜日	休館	休館	9:00	17:00
	日曜日・祝日	休館	休館	9:00	17:00
休館日	<ul style="list-style-type: none"> ・年末年始（12月29日～翌年1月3日） ・大学及び大学院入学試験日 ・秋興祭 ・館内整理日（毎月末日。末日が休日の場合は前日） ・蔵書点検日（概ね9月上旬の1週間と3月上旬の1週間） 				
職員数	3(他：図書館事務1)人		2人		

(2) 貸出条件

○帯出冊数および日数			
利用者	種別	数	期間
1～3年生、聴講生、研究生、科目等履修生、一般利用者	図書	5冊以内	1週間以内
	雑誌	3冊以内	1週間以内
	音楽CD・カセット	2タイトル以内	1週間以内
4年生、留学生、糖尿病看護認定看護師教育課程受講生	図書	5冊以内	2週間以内
	雑誌	3冊以内	1週間以内
	音楽CD・カセット	2タイトル以内	1週間以内
大学院生、教職員（非常勤の者を含む）	図書	10冊以内	30日間以内
	雑誌	5冊以内	1週間以内
	音楽CD・カセット	2タイトル以内	1週間以内
次の図書は帯出できません。			
① 参考図書（辞書、辞典、図鑑、年鑑、統計、地図、法令集及びこれらに準ずるもの）			
② 貴重図書			
③ 雑誌の最新号、新聞			
④ 機械可読資料（マイクロフィルム、CD-ROM等）			
⑤ 映像資料（DVD、ビデオテープ、ビデオディスク等）			
⑥ その他館長が館外利用を不相当と認めたもの			
○帯出更新			
貸出中の図書は予約者のないときに限り、貸出期間を更新することができます。			

(3) 蔵書数

(単位：冊)

区分	図書	(うち外国書)	学術雑誌	(うち外国書)		
				電子ジャーナル	(うち外国書)	
本館	131,977	20,549	645	230	17	17
分館	29,184	1,848	230	28	11	11
合計	161,161	22,397	875	258	28	28

(4) 入館者状況

(単位：人)

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
本館	15,061	21,788	21,340	19,613	18,296
分館	15,936	19,035	19,716	21,033	23,943
合計	30,997	40,823	41,056	40,646	42,239

(5) 貸出状況 (学内・学外者)

(単位：人)

区分	H22年度			H23年度			H24年度			H25年度			H26年度		
	学内者	学外者		学内者	学外者		学内者	学外者		学内者	学外者		学内者	学外者	
本館	18,736	17,408	1,328	20,862	19,635	1,227	19,661	18,489	1,172	35,929	20,188	15,741	16,134	13,383	2,751
分館	22,752	18,200	4,552	21,557	17,624	3,933	20,072	16,469	3,603	21,193	15,741	5,452	18,557	14,217	4,340
合計	41,488	35,608	5,880	42,419	37,259	5,160	39,733	34,958	4,775	57,122	35,929	21,193	34,691	27,600	7,091

7. 学生団体が課外活動に利用する施設の整備状況

サークル部屋・学生会館

施設一覧		
・グラウンド	・プール	・茶室
・体育館	・音楽室	・部室17部屋
・テニスコート	・造形実習室	・スタジオ2部屋

※上記以外に、講義室・演習室を使うサークルもある。

IX. 就職

1. 卒業後の状況

(1) 学科別就職率及び進学、就職希望者の就職率

学部 学科別	卒業生数 (A)	就職希望者数 (B)	就職決定者数 (C)	進学者数			その他	就職率 (%) (C) / (A)	就職希望者の就職率 (%) (C) / (B)
				大学院	その他 専修学校				
公共社会学科	58	52	49	4	2	2	2	84.5%	94.2%
社会福祉学科	62	55	54	4	2	2	3	87.1%	98.2%
人間形成学科	53	41	40	6	4	2	2	75.5%	97.6%
看護学科	81	79	79	2	1	1	0	97.5%	100.0%
合計	254	227	222	16	9	7	7	87.4%	97.8%

(2) 学科別所在地別就職先一覧

学部	公共社会学科	社会福祉学科	人間形成学科	看護学科		公共社会学科	社会福祉学科	人間形成学科	看護学科
北海道					和歌山県				
青森県					滋賀県				
岩手県					奈良県	1			
秋田県					京都府	1			
宮城県					大阪府	2		2	
山形県					兵庫県				1
福島県					岡山県			3	
茨城県					広島県		4	3	2
栃木県					鳥取県			1	
群馬県					島根県		1		2
埼玉県			1		山口県	1	1	4	5
千葉県	2			4	香川県				
東京都	10	2	1	9	徳島県				
神奈川県		1	2		愛媛県			1	1
新潟県					高知県				
福井県					福岡県	18	33	18	47
石川県					佐賀県		1		2
富山県					長崎県	2	1		
静岡県					大分県	4	1	1	2
山梨県					熊本県	4	2	1	
長野県					宮崎県	1		1	1
愛知県	2				鹿児島県	1	3		1
岐阜県					沖縄県			1	2
三重県					その他		4		

(3) 学科別産業別就職先一覧

公共社会学科	種別	就職者数	割合
	建設業	2	4.1%
	製造業	4	8.2%
	電気・ガス・熱供給・水道業	1	2.0%
	情報通信業	5	10.2%
	運輸業・郵便業	0	0.0%
	卸売業・小売業	9	18.4%
	金融業・保険業	6	12.2%
	不動産業・物品賃貸業	2	4.1%
	学術研究・専門・技術サービス業	4	8.2%
	宿泊業・飲食サービス業	0	0.0%
	生活関連サービス業・娯楽業	5	10.2%
	教育・学習支援業	1	2.0%
	医療・福祉	1	2.0%
	複合サービス業	0	0.0%
	サービス業	3	6.1%
公務	5	10.2%	
その他	1	2.0%	

社会福祉学科	種別	就職者数	割合
	農業・林業	0	0.0%
	製造業	0	0.0%
	情報通信業	0	0.0%
	卸売業・小売業	1	1.9%
	金融業・保険業	2	3.7%
	医療施設	20	37.0%
	福祉	27	50.0%
	公務	1	1.9%
	その他	3	5.6%

看護学科	種別	就職者数	割合
	病院・医療施設 (看護師・助産師)	59	74.7%
	教員 (養護教諭含む)	9	9.7%
	官公庁 (看護師・保健師)	11	11.8%
	サービス業	0	0.0%

人間形成学科	種別	就職者数	割合
	幼稚園・保育園(私立)	12	30.0%
	幼稚園・保育園(官公庁)	9	22.5%
	小売業	5	12.5%
	官公庁	2	5.0%
	サービス業	2	5.0%
	金融・保険業	1	2.5%
	不動産業	1	2.5%
	教育業・学習支援業	2	5.0%
	その他	6	15.0%

(4) 大学院課程修了生専攻別就職率及び進学、就職希望者の就職率

研究科 専攻別	修了者数 (A)	就職希望者数 (B)	就職決定者数 (C)	進学者数	その他	就職率 (%) (C) / (A)	就職希望者の就職率 (%) (C) / (B)
社会福祉専攻	1	1	1	0	0	100.0%	100.0%
心理臨床専攻	9	9	9	0	0	100.0%	100.0%
地域教育支援専攻	0	0	0	0	0	—	—
看護学研究科	8	8	8	0	0	100.0%	100.0%
合計	18	18	18	0	0	100.0%	100.0%

(5) 大学院課程修了生専攻別産業別就職先一覧

社会福祉専攻	種別	就職者数	割合
	教育・学習支援業	1	100.0%
	公務	0	0.0%

看護学専攻	種別	就職者数	割合
	教育・学習支援業	3	37.5%
	医療・福祉	5	62.5%

心理臨床専攻	種別	就職者数	割合
	教育・学習支援業	0	0.0%
	医療・福祉	9	100.0%
公務	0	0.0%	

X. 研究

1. 研究成果の発信

(1) 紀要等

		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	公開URL
福岡県立大学 人間社会学部紀要	発行回数	年2回	年2回	年2回	年2回	http://www.fukuoka-pu.ac.jp/academics/human/journal.html
	発送部数 (発行部数)	1号 263 (500) 2号 261 (500)	1号 250 (400) 2号 249 (400)	1号 239 (400) 2号 230 (400)	1号 67 (200) 2号 66 (200)	
福岡県立大学 看護学部紀要	発行回数	年2回	年2回	年2回	年1回	http://www.fukuoka-pu.ac.jp/academics/nurse/journal.html
	発送部数 (発行部数)	1号 244 (400) 2号 244 (400)	1号 241 (400) 2号 240 (400)	1号 239 (400) 2号 239 (400)	1号256 (400)	
福岡県立大学 心理臨床研究	発行回数	年1回	年1回	年1回	年1回	
	発送部数 (発行部数)	106 (200)	104 (200)	118 (200)	102 (200)	

(2) 附属研究所業務実績報告書等

発行元	出版物	発送部数 (発行部数) 公開 URL (電子ブック)
生涯福祉研究センター	生涯福祉研究センター2013 年度事業報告書 (2015年2月発行)	電子ブック http://www.fukuoka-pu.ac.jp/research/welfare/ebook/index.html
不登校・ひきこもりサポートセンター	不登校・ひきこもりサポートセンター 2013年度事業報告書 (2014年9月発行)	電子ブック http://www.fukuoka-pu.ac.jp/research/cscsn/ebook/index.html
ヘルスプロモーション実践研究センター	ヘルスプロモーション実践研究センター 2013年度事業報告書 (2014年9月発行)	電子ブック http://www.fukuoka-pu.ac.jp/research/helthpromo/ebook/index.html
社会貢献・ボランティア支援センター	社会貢献・ボランティア支援センター 2013年度事業報告書 (2014年9月発行)	電子ブック http://www.fukuoka-pu.ac.jp/research/volunteer/ebook/index.html
附属研究所	福岡県立大学公開講座報告書 2014年版 (2015年3月発行)	200部
附属研究所	福岡県立大学附属研究所案内リーフレット(改訂新版) (2015年2月発行)	3000部
附属研究所	vol53 山本作兵衛さんを〈読む〉会編『山本作兵衛－日記・手帳－』解説資料集 第14巻 (2015年3月発行)	74 (200)

(3) その他

	H23年度		H24年度		H25年度		H26年度	
	発行回数	発送部数 (発行部数)	発行回数	発送部数 (発行部数)	発行回数	発送部数 (発行部数)	発行回数	発送部数 (発行部数)
社会調査実習報告書	年1回	10 (30)						

2. 研究奨励交付金決定一覧

区分		H 2 2 年度		H 2 3 年度		H 2 4 年度		H 2 5 年度		H 2 6 年度	
		件数	金額 (千円)								
プロジェクト 研究	人間社会学部	3	5,298	5	5,440	5	4,550	3	1,942	1	986
	看護学部	4	4,798	5	5,670	6	5,700	4	3,606	5	4,248
	計	7	10,096	10	11,110	11	10,250	7	5,548	6	5,234
個別研究 ※ 1	人間社会学部	7	3,485	7	2,445	11	3,315	10	2,740		
	看護学部	13	5,490	19	5,196	13	4,190	15	4,311		
	計	20	8,975	26	7,641	24	7,505	25	7,051		
若手研究助成 ※ 2	人間社会学部									2	393
	看護学部									10	1,411
	計									12	1,804
院生研究助成 ※ 3	人間社会学部									1	54
	看護学部									0	0
	計									1	54
教員表彰者 支援 ※ 4	人間社会学部									1	100
	看護学部									1	100
	計									2	200
科研申請支援 ※ 5	人間社会学部							2	200	2	200
	看護学部							1	100	3	300
	計							3	300	5	500
合計	人間社会学部	10	8,783	12	7,885	16	7,865	15	4,882	7	1,733
	看護学部	17	10,288	24	10,866	19	9,890	20	8,017	19	6,059
	計	27	19,071	36	18,751	35	17,755	35	12,899	26	7,792

※金額については予算配分額

※ 1 については平成 2 6 年度から廃止

※ 2、3、4 については平成 2 6 年度より採択開始

※ 5 については平成 2 5 年度より採択開始

3. 外部資金等の獲得実績（平成 26 年度受託研究等事業名）一覧

(単位：千円)

委託元		研究課題等	金額
継続	文部科学省	大学間連携共同教育推進事業（代表校）	23,215
継続	文部科学省	産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業（連携校）	9,506
継続	文部科学省	がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（連携校）	1,106
新規	文部科学省	産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】（代表校）	10,268
継続	九州大学	SR（スマートラバー）技術を活かした健康・福祉・医療分野における応用に関する事業化研究	500
新規	久留米市	思春期における性に関する意識と行動のアンケート調査及び普及啓発資料作成業務	1,655
新規	北九州市	「北九州市職員の心の健康づくりのための計画（第二期）」評価及び第三期計画に向けての調査と提言	500
新規	マルボシ酢株式会社	産学官市民連携による過疎化地域対策事業のモデルづくりについての先行研究—田川地域における「一村一品運動」の可能性—	199
計		8 件	46,950

4. 大学間連携共同教育推進事業

平成 26 年度「大学間連携共同教育推進事業」成果

(1) 取組内容

平成 24 年度文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」に、本学を代表校とした、福岡及び沖縄の看護系大学 8 大学とステークホルダー 5 団体による「多価値尊重社会の実現に寄与する学生を養成する教育共同体の構築」が採択され、事業を継続実施している。

看護系大学では、自由度の低いカリキュラムの中で、学生たちはともすると単一の価値観をもとにした頑なな使命感を身につけがちである。この単一価値観が、挫折しやすい状況をもたらしていると認識されており、看護職者の早期離職につながっている。そこで、本補助事業において、単一価値からの脱却を目指した教育(基盤的取組)、及び、各大学が開講している「特徴科目」を単位互換すること(先進的取組)によって、多様な価値を理解し共有する、「しなやかな使命感」を有する学生を養成することを目的としている。

(2) 取組成果

① 事業全体に関すること

- ・ 連携大学及びステークホルダーからなる共同教育連携運営協議会総会を開催した。
[福岡：2回，沖縄：2回，テレビ会議：1回]
- ・ 3 部会による運営体制により事業内容を推進した。[キャリア像確立部会：9回，統一コード化部会：10回，研修調整部会：5回]

② 基盤的取組に関すること

- ・ キャリア像確立講義 I 及び II の講義を実施し、VOD (ビデオオンデマンド) のコンテンツ化を行った。[キャリア像確立講義 I：8回，キャリア像確立講義 II：8回]
- ・ ナーシング・キャリアカフェを開催した。[福岡地区：12回，沖縄地区：10回]

③ 先進的取組に関すること

- ・ 連携 8 大学で単位互換協定を締結し、単位互換システムの整備を完了させた。
- ・ 特定授業群「国際看護論 I (聖マリア学院大学)」を VOD にて相互受講を実施した。
[当該大学以外の 4 大学から 6 名が受講]
- ・ 国際協力看護領域および災害看護領域、さらに新規領域として島嶼看護領域における学生による合同短期研修を行った。[国立国際医療研究センター病院：16 名，兵庫県災害医療センター：21 名，島嶼 (宮古・石垣・座間味)：27 名]

(3) 広報活動

- ・ 年次事業報告書を発行した。[2000 部]
- ・ ニュースレター「しなやかだより」を発行した。[4 号：2000 部，5 号：2000 部]
- ・ ホームページの更新を行った。[随時]
- ・ 学会発表等を行った。[5 つの学会で延べ 78 名が発表]

5. 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業

- (1) 平成 24 年度文部科学省「産業界ニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」の「地域力を生む自律的職業人育成プロジェクト」(23 大学・短大、福岡工業大学(幹事校))におけるインターンシップグループ(9 校、グループリーダー校 福岡県立大学)の取組成果

① 取組内容

平成 25 年度での試行プログラムの検証結果を踏まえ、インターンシップモデルプログラム策定推進遂行 5 項目(受入に関わる文書フォーマットの統一、学生ニーズとのマッチングが可能な受入開拓、事前事後指導内容の統一、評価フォーマット、海外インターンシップの標準化)を挙げ、インターンシップグループ 9 校で分担して取り組み、モデルプログラム作成に着手した。効果的かつ継続可能なインターンシップ実施のためのモデルプログラムとして「初年次から取り組む連続的なインターンシップ」「事前事後指導の充実」「インターンシップの類型化」「ルーブリック評価の導入」「海外インターンシップの普及」の 5 つを重点項目として、整理した。

② 取組成果

- ・「初年次から取り組む連続的なインターンシップ」に関して、平成 25 年度に、初年次でのインターンシップ試行プログラムを福岡県立大学で実施し、平成 26 年度には、9 大学のうち 6 大学で初年次にインターンシップを導入することができた。
- ・「事前事後指導の充実」に関する学生・教職員・受入先が取り組むべき項目を 9 大学で整理した。
- ・「インターンシップの類型化」については、インターンシップを「学習意欲喚起型」「資格要件型」「職業選択準備型」「グローバル人材型」の 4 つのタイプに分類し、平成 26 年度では、「学習意欲喚起型」が 6 校、「資格要件型」が 1 校、「職業選択準備型」が 6 校、「グローバル人材型」が 3 校と多様なインターンシップが各大学で実施されていることがわかった。
- ・「ルーブリック評価の導入」については、平成 26 年度には、9 大学のうち 7 大学で、インターンシップにルーブリック評価を導入することができた。ルーブリック評価導入により、学生、受入先に対して、インターンシップのねらいや到達目標を具体的に示せること、インターンシップによる学生の成長を数値化できるなどの利点を見出すことができた。さらに、9 大学で実施されている「学習意欲喚起型」「資格要件型」「職業選択準備型」「グローバル人材型」のタイプ別のルーブリック評価表を作成することができた。
- ・「海外インターンシップの普及」について、海外インターンシップを行う手順を計画、準備、実施の 3 段階に分け、ポイントや特色ある取組事例を整理した。

③ 広報活動

- ・地域力を生む自律的職業人育成プロジェクト『インターンシップ報告会報告書』を発行（2015年3月）[1,000部]し、文部科学省をはじめ産業界ニーズ事業連携校、プレ・インターンシップ受入先等131箇所に発送した。
- ・ホームページの更新を随時行った。

- (2) 平成26年度文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」での中長期・実践型インターンシップ推進と教育的な指導体制の構築（福岡県立大学（幹事校）、福岡工業大学、西九州大学、九州インターンシップ推進協議会（支援組織））の取組成果

① 取組内容

本補助事業では、連携大学（福岡県立大学、福岡工業大学、西九州大学）が中心となって、キャリア教育型（課題協働型、事業参画型）インターンシップ推進のため、実践的な産学連携のインターンシップ教育プログラムの先進モデルを開発し、九州地域全体への普及・定着を図ることを目的としている。

平成26年度は、福岡・佐賀地域において福岡県立大学、福岡工業大学、西九州大学3大学が連携し、受入企業・自治体・団体等開拓のための調査を実施し、受入先企業・自治体・団体の受け入れ体制の課題抽出を行った。また、大学側の教育プログラムの課題調整を行い、中長期・実践型インターンシップ受入先企業・自治体・団体数の拡大に取り組んだ。

さらに、インターンシップのマッチングに必要な専門人材の養成、連携大学と九州インターンシップ推進協議会との協働によりキャリア教育型インターンシップ教育プログラムの開発に取り組み、実践型インターンシップ試行プログラムを春季に実施した。

② 取組成果

- ・福岡・佐賀地域におけるインターンシップ受入先企業・自治体・団体を対象とした中長期・実践型インターンシップに関する調査（117社から回答）を行い、今年度の中長期・実践型インターンシップの試行プログラムにつなげることができた。
- ・実践型インターンシップ試行プログラムを、春季に実施できた（受入先5企業、連携3大学参加学生11人）。試行プログラムの教育目的を、実社会で応用可能な汎用的能力を養うこととし、企業が抱える課題に取り組み、情報の収集と分析、課題解決策の提案と実践といったプロセスを体験するプログラムを設計した。試行プログラム実施にあたり、中長期・実践型インターンシップの目的・目標を踏まえたルーブリック評価表を作成し、外部評価に対し企業の協力を得て実施できた。事前学習会、中間報告会を3大学合同で行い、5つの企業での体験を学生同士が共有する場となり、切磋琢磨する機会になった。

- ・北九州、西九州、中九州の 3 地域で中長期・実践型インターンシップに関するワークショップを開催し、大学および企業のインターンシップ担当者の出席（参加者：大学教職員延べ 48 人、企業担当者延べ 21 人）を得て、連携 3 大学の担当者が九州の 3 つの地域の大学及び企業の担当者とのインターンシップ取組に関して、相互に学習を行う機会を設けることができた。
 - ・九州全域の大学・短期大学に対し、中長期・実践型インターンシップに関する意向調査を実施し、118 校の内 60 校から回答を得て、実践型インターンシップを実施するためには、実施期間の確保、受入開拓の他に専門人材や担当教職員が足りないなど人材不足の共通課題があることがわかった。インターンシップのマッチングに必要な専門人材養成を目指した合同コーディネーター研修会を、北九州、中九州の 2 地域において開催（参加者：大学教職員延べ 28 人、企業担当者延べ 7 人）し、専門人材に求められる知識・能力・技術について学習する機会を設けることができた。
- 以上、連携 3 大学と九州インターンシップ推進協議会との協働により、中長期・実践型インターンシップの推進、インターンシップに関する教育的な指導體制の整備に取り組み、本事業でのインターンシップ取組の九州地域への拡大を図った。

③ 広報活動

- ・平成 26 年度産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマ B】インターンシップ等の取組拡大選定「中長期・実践型インターンシップ推進と教育体制の構築 平成 26 年度活動報告書」を発行（2015 年 3 月）[400 部]し、文部科学省をはじめ産業界ニーズ事業連携校、プレ・インターンシップ受入先等 353 箇所へ発送した。
- ・ホームページの更新を随時行った。

6. 科学研究費補助金応募・獲得状況及び外部研究費受入額（各学部）

人間社会学部

		H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度	
科学研究費補助金 (件数)	応募件数	25	25	25	29	37	
	うち新規応募件数	20	15	13	20	30	
	新規獲得件数	6	6	3	4	6	
	採択率	30.0%	40.0%	23.1%	20.0%	20.0%	
	獲得件数	13	17	13	11	16	
外部研究資金 (受入額：千円)	科研費	23,240	27,950	21,862	17,940	27,468	
	その他	0	0	0	0	0	
	合計	23,240	27,950	21,862	17,940	27,468	
受託 研究等 (研究のみ)	受託研究	件数	1	1	—	2	1
		金額（千円）	1,995	1,995	—	535	500
	共同研究	件数	1	3	1	4	2
		金額（千円）	500	1,361	1,397	1,768	699
	G P 及び 大学改革推進 事業	件数	1	1	1	1	2
		金額（千円）	19,953	16,800	8,431	11,983	19,774
	計	件数	3	5	2	7	5
金額（千円）		22,448	20,156	9,828	14,286	20,973	
受託研究等 (上記以外)	件数	1	1	1	—	—	
	金額（千円）	1,201	895	164	—	—	
受託研究等 合計	件数	4	6	3	7	5	
	金額（千円）	23,649	21,051	9,992	14,286	20,973	
合計（千円）		46,889	49,001	31,854	32,226	48,441	

		H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度
科学研究費補助金 (件数)	応募件数	26	25	29	34	35
	教員数	50	51	51	48	42
	応募率（無資格者等除く）	51.0%	50.0%	56.9%	89.5%	89.7%

看護学部

		H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度	
科学研究費補助金 (件数)	応募件数	52	54	49	52	54	
	うち新規応募件数	39	45	34	36	40	
	新規獲得件数	4	13	6	6	10	
	採択率	10.3%	28.9%	17.6%	16.7%	25.0%	
	獲得件数	16	19	19	19	22	
外部研究資金 (受入額：千円)	科研費	17,550	25,870	30,680	24,960	31,887	
	その他	0	0	0	0	0	
	合計	17,550	25,870	30,680	24,960	31,887	
受託 研究等 (研究のみ)	受託研究	件数	2	0	2	1	1
		金額(千円)	1,192	199	607	302	1,655
	共同研究	件数	—	2	3	1	0
		金額(千円)	—	687	940	0	0
	G P 及び 大学改革推進 事業	件数	2	1	1	1	2
		金額(千円)	88,081	71,000	37,702	28,374	24,321
	計	件数	4	3	6	3	3
		金額(千円)	89,273	71,886	39,249	28,676	25,976
受託研究等 (上記以外)	件数	—	—	—	—	—	
	金額(千円)	—	—	—	—	—	
受託研究等 合計	件数	4	3	6	3	3	
	金額(千円)	89,273	71,886	39,249	28,676	25,976	
合計(千円)		106,823	97,756	69,929	53,636	57,863	

		H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度
科学研究費補助金 (件数)	応募件数	52	52	51	54	52
	教員数	60	60	62	62	58
	応募率(無資格者等除く)	94.5%	92.9%	91.9%	100.0%	98.1%

7. 査読付学術書掲載論文数及び学会発表等（各学部）

項目	学部	H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度
論文数 (査読、学術 書掲載分)	人間社会学部	23	19	21	34	14
	看護学部	45	67	71	40	35
	計	68	86	92	74	49
学会発表数 (招待講演、シ ンポジスト 招聘分)	人間社会学部	9	5	8	7	5
	看護学部	16	9	9	6	1
	計	25	14	17	13	6

8. 学術賞等の受賞状況

学術賞名	学部	受賞者名	受賞内容	主催団体（学会）
第9回九州心理学会 優秀発表賞	人間社会学部	福田 恭介	まばたきの数と速度が印象形成に及 ぼす効果	九州心理学会

9. 受賞論文・国際学会招待研究等一覧

実績無し

10. 国際学会招待研究等一覧

実績無し

11. 特許出願状況

学部		H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度
人間社会学部	申請	0	0	0	0	0
	取得	0	0	0	0	0
看護学部	申請	0	1	1	1	0
	取得	0	0	1	0	0
合計	申請	0	1	1	1	0
	取得	0	0	1	0	0

XI. 国際交流

1. 学部・学年別・国籍別留学生数

	人間社会学部		看護学部	
	人数	国籍	人数	国籍
1年生				
2年生	1	中国		
3年生	1	中国		
4年生				

2. 留学生の受入・派遣

(1) 交換留学（受入・派遣）

	南京師範大学	大邱韓医大学校	三育大学校
受入学生数	6	5	0
派遣学生数	1	0	2

(2) 語学研修実績

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	行き先
参加学生数	40	16	16	25	23	イギリス（バース・オックスフォード）

(3) 留学における単位認定

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
南京師範大学	対象学生数	6	6	6	6	6
	認定単位数	60	47	51	48	45
大邱韓医大学校	対象学生数	3	2	2	5	5
	認定単位数	97	50	64	138	161
三育大学校	対象学生数	—	—	—	1	—
	認定単位数	—	—	—	38	—

3. 学術交流協定等締結校一覧

中国	南京師範大学
	北京中医薬大学
韓国	大邱韓医大学校
	三育大学校
タイ	コンケン大学

1. 公開講座等の実施状況

(1) 公開講座実施状況

講習期間	講座名	受講者数 (延べ)
11月6日(木)から 12月1日(月) (全3回)	公開講座Ⅰ：いじめと不登校を考える	87人
11月21日(金)から 12月5日(金) (全3回)	公開講座Ⅱ：「在宅医療と介護」の今…を考える	52人
11月29日(土)から 12月13日(土) (全3回)	公開講座Ⅲ：年齢なんかに負けないぞ!!	63人
10月17日(金) 13:00～15:00	福岡県立3大学連携県民公開講座： 食べる・噛む・生きる ～お口の健康で明るい家族～	131人

(2) 科目等履修生、聴講生、研究生の受入状況

区分	H22年度		H23年度		H24年度		H25年度		H26年度	
	前期	後期								
科目等履修生	1	5	5	5	5	8	7	1	2	3
科目等履修生(大学院)	2	0	0	0	0	1	2	3	2	1
聴講生	5	6	3	0	1	1	1	1	4	2
聴講生(大学院)	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0
研究生	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0

(3) 出前講義の実施状況

区分	開催回数	参加人数	場所
出前講義	31	1,302	小倉南・北筑・青豊など
高校訪問(来学)	17	348	本学
出前講義(来学)	1	40	本学

出前講義アンケート

	参加人数	回収人数	満足	だいたい満足	あまり満足でない	満足でない
出前講義	1302	971	688	230	19	34
高校訪問(来学)	348	34	20	14	0	0
出前講義(来学)	40	0	0	0	0	0

平成 26 年度 出前講義テーマ一覧

人間社会学部	看護学部
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共とは何か ・ 心理学入門 ・ 占いはなぜ当たるのか ・ 脳とこころの最前線 ・ ニセ科学の見分け方 ・ 社会福祉学入門 ・ 保育所・幼稚園の先生になるためには何が 必要か。 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手術と看護 ・ 看護の技について ・ 地域の人々に対する看護活動 ・ 性教育について ・ 小児科の看護師さんって？ ・ 認知症高齢者の体験世界と看護 ・ からだのリズム～睡眠と覚醒～ 等

2. 地域貢献活動

(1) 生涯福祉研究センター活動概要

リカレント教育事業

対象	事業名	回数	人数(延べ)
保育士、幼・小・ 中・特別支援学校 教諭 等	特別支援教育スキルアッププログラム	5	79
	保育士・教師のためのペアレントトレーニングスキ ルアッププログラム(直方市と共催)	4	85
	筑豊英語教員フォーラム	14	90
	直方市保育所連盟統合部会研修会	3	36
保健・医療・福祉	足と靴の健康・実践講座	1	17
福祉	福岡県立大学リカレントセミナー・フィリピンにお ける児童家庭福祉	1	25
	福岡県立大学リカレントセミナー・福祉を実践する ものの価値	1	124
一般住民	山本作兵衛さんを<読む>会	48	816
本学 学生・大学院生	さわやかな自己表現塾	1	41
	福祉用具体験講習	1	23
	PCスキル養成講座	1	7
	生命保険実学講座	1	20
本学教職員	PCスキル養成講座	1	3
	生命保険実学講座	1	4

地域貢献事業

対象	事業名	回数	人数（延べ）
乳幼児、児童と保護者	おもちゃとしょかん・たがわ	26	295
	アンビシャス親子広場	48	320
親	お父さんとお母さんの学習室	22	66
保育士	直方市要保護児童対策地域協議会による保育園でのペアレントトレーニング	16	対象3園
福祉、介護、医療、福祉用具販売等	福祉用具研究会	8	154
一般住民（外国人）	日本語くらぶ・たがわ	16	54
一般住民	足と靴の相談室	随時	37

(2) ヘルスプロモーション実践研究センター活動概要

リカレント教育事業

	事業名	回数	人数（延べ）	
一般	世にも珍しいマザークラス in たがわ	6	39	
一般、助産師	世にも珍しいマザークラス in ふくおか	6	54	
一般	健康大使への継続教育	1	25	
一般、看護師 助産師	県立大学女性と子どものためのスペース「ら・どんな☆まんま」	4	22	
一般	子ども健康見守り隊-1	保育看護学習会（保育士対象）	10	467
一般	子ども健康見守り隊-2	パパ・ママは名医だぞ！	3	24
		健康保育 自分からだ 大切に！！	10	674
		外来看護師さんの井戸端会議	2	26
一般	性の健康に関する事業	相談事業	5	27
		セミナー事業	4	29
		マンスリービクス	1	9
		出前講義	2	78
一般	エンドオブライフケア	多職種協働がんセミナー（1） 福岡県在宅推進シンポジウム	1	8
一般、看護師 保健師		多職種協働がんセミナー（2） 在宅医療推進がんセミナー	1	105
一般、看護師	地域住民とともに創造する筑豊の健康長寿文化：高齢者宅訪問	14	47	
一般	筑豊市民大学・ヘルシーエイジングゼミ PART 11	10	274	
一般、保健師	地域住民の感染症予防スキルアップ事業	3	363	
一般	源流塾	1	12	

地域貢献事業

対象	事業名	回数	人数 (延べ)
一般、看護師 保健師、助産師	身体感覚活性化く世にも珍しいマザークラス医療者向けセミナー	1	47
一般、看護師 助産師	母乳育児支援者のための20時間ベーシックコース	8	78
一般、看護師	福岡ヘルシー・エイジング研究会	11	101
一般、保健師	保健師リカレント教育	2	38

(3) 不登校・ひきこもりサポートセンター活動概要

リカレント教育事業

	対象	事業名	回数	人数
リカレント	小・中・高校教員	公開講座「いじめと不登校を考える」	3	87
		フォーラム「自閉症スペクトラム傾向の子どもへの対応について」	1	136
		教員対象研修事業	72	5,983

地域貢献事業

	対象	事業名	回数	人数
地域貢献	小学生～20歳程度	県大子どもサポートセンター派遣	217(名)	2,788
	小・中・高校生	キャンパススクール	24(名)	1,856
	小学生～20歳程度	相談件数	1,280	3,317
	親	家族交流会	12	62

(4) 社会貢献・ボランティア支援センター活動概要

(外部団体の登録状況と学生の活動状況)

領域	登録団体 件数	依頼申請 件数	学生 参加件数	学生 参加人数
高齢者福祉に関する団体・施設	14	6	1	1
障害者福祉に関する団体・施設 (障害児を含む)	52	23	7	113
児童福祉に関する団体・施設	25	10	2	234
社会福祉協議会	16	13	3	10
その他	43	18	8	56
合計	148	70	21	414

(5) 看護実践教育センター活動概要

リカレント教育事業

実施年度	対象	事業名	人数(名)
平成 22 年度	看護職	第 8 回熊本糖尿病教育看護研究会	61
平成 23 年度	看護職	第 4 回九州糖尿病認定看護セミナー	103
平成 24 年度	看護職	第 1 回九州・山口・沖縄糖尿病療養指導スキル アップセミナー	125
平成 25 年度	看護職	第 1 回糖尿病看護実践力開発セミナー	317
平成 26 年度	看護職	第 2 回糖尿病看護実践力開発セミナー	400

(6) 心理教育相談室実績

事業名	面接件数
心理教育相談	870

(7) 教員免許更新事業

講習期間	講座の名称	時間数	参加教員数
8月21、22日	教育の最新事情	12	112
8月25日	子どもを取り巻く課題と学校連携	6	37
8月26日	子どもを支える力	6	39
8月27日	救急処置・危機管理と学校連携	6	37
計		30	225

教員免許状更新講習 事後アンケート

講習期間	評価項目	Ⅰ. 講習の内容・方法について				Ⅱ. 講習を受講したあなたの最新の知識・技能の習得の成果について				Ⅲ. 講習の運用面について				参加教員数
		満足	だいたい満足	あまり満足でない	満足でない	満足	だいたい満足	あまり満足でない	満足でない	満足	だいたい満足	あまり満足でない	満足でない	
8月21、22日		47	62	2	1	50	57	4	1	57	52	3	0	112
8月25日		24	13	0	0	22	15	0	0	26	10	1	0	37
8月26日		30	9	0	0	32	7	0	0	27	11	1	0	39
8月27日		27	9	1	0	24	12	1	0	28	7	2	0	37

3. 学外講義・講演

講師等（行政・教育）

（単位：件）

福岡県	田川市郡	福岡県内市町村	他縣市町村	計
22	15	67	19	123

講師等（その他団体）

（単位：件）

福岡県内		他県	計
田川地区	その他		
8	64	13	85

4. 審議会・委員会等への参画状況

委員会（その他の団体）

（単位：件）

福岡県内		他県	計
田川地区	その他		
45	46	4	95

XIII. 財務

1. 資産と負債の状況

(単位：千円)

科目	H22年度 (A)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度 (B)	増減 (B - A)
資産 (①)	9,327,778	9,348,667	9,110,738	8,828,617	8,456,447	△ 871,331
固定資産	8,865,910	8,978,033	8,717,199	8,443,874	8,179,048	△ 686,862
流動資産	461,867	370,643	393,539	384,743	277,398	△ 184,469
負債	1,590,673	1,851,788	1,896,824	1,849,475	1,634,101	43,428
固定負債	1,325,484	1,599,190	1,543,100	1,480,715	1,444,632	119,148
資産見返負債	1,325,484	1,547,378	1,514,094	1,468,357	1,422,718	97,234
長期リース債務	0	51,812	29,005	12,357	21,913	21,913
流動負債	265,189	252,598	353,724	368,760	189,469	△ 75,720
リース債務	5,412	25,690	22,807	16,647	12,363	6,951
その他	259,777	226,908	330,917	352,113	177,106	△ 82,671
資本 (②)	7,737,104	7,496,878	7,213,913	6,979,141	6,822,345	△ 914,759
自己資本比率 (②/①)	83%	80%	79%	79%	81%	

※項目ごとに千円未満を切り捨てているため、合計額が一致しない場合がある。

(出典 賃借対照表)

2. 土地と建物の状況

(単位：㎡)

区分	法人設立時 (A)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度 (B)	増減 (B - A)
土地	96,854	96,359	96,359	96,359	96,359	96,359	△ 495
建物	35,750	35,750	37,074	37,074	37,074	37,074	1,324

(出典 不動産登記簿)

3. 自己収入の状況

(単位：千円)

年度					雑収入	計
	授業料	入学金	検定料	小計		
H 2 2 年度	585,456	121,974	26,213	733,643	41,006	774,649
H 2 3 年度	586,279	120,421	26,522	733,222	44,083	777,305
H 2 4 年度	571,732	115,410	28,528	715,670	41,572	757,242
H 2 5 年度	569,211	114,528	21,598	705,337	39,114	744,451
H 2 6 年度	557,244	111,147	26,651	695,042	39,177	734,219

(出典 損益計算書)

4. 外部研究資金の獲得状況

(単位：千円)

年度	科学研究費補助金		受託研究・共同研究資金		その他補助金		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
H 2 2 年度	29	40,790	4	3,687	4	109,235	37	153,712
H 2 3 年度	36	53,820	7	4,242	3	88,695	46	146,757
H 2 4 年度	32	52,542	8	2,944	3	46,297	43	101,783
H 2 5 年度	30	42,900	8	2,605	2	40,357	40	85,862
H 2 6 年度	38	59,355	4	2,854	4	44,095	46	106,304

5. 収支状況

(単位：千円)

区分	H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度
経常費用	1,952,977	1,999,593	1,959,466	1,921,915	1,757,698
経常収益	1,920,338	1,913,809	1,923,017	1,887,408	1,820,261
経常利益	△ 32,639	△ 85,784	△ 36,449	△ 34,507	62,563
臨時損失	3,854	595	5,516	366	1,334
臨時利益	28,942	46,267	5,516	386	1,334
目的積立金取崩額	45,275	60,095	17,772	35,819	0
当期総利益	37,726	19,982	△ 18,676	1,332	62,562

(出典 損益計算書)

6. 教育研究経費の状況

(単位：千円)

区分	教育経費	研究経費				教育研究支援経費	合計
		個人研究費	研究奨励交付金	その他	計		
H 2 2 年度	144,268	44,572	19,103	28,918	92,593	45,655	282,516
H 2 3 年度	164,723	44,572	19,103	29,193	92,868	45,728	303,319
H 2 4 年度	150,491	44,572	19,103	22,572	86,247	47,993	284,731
H 2 5 年度	162,110	44,572	19,103	23,675	87,350	49,238	298,698
H 2 6 年度	176,438	39,983	17,136	22,733	79,852	48,532	304,822

(出典 収支計画予算)

<付録>

1. 平成 26 年度における主な取組

(1) 学部

- ・教養教育の充実については、全教養科目のカリキュラムや科目内容の見直し、社会人・職業人として必要な知識・スキルを身につけるための新科目開設について検討した。スキルアップゼミについては、4 コースを開講した。
- ・人間社会学部では、専門教育及び資格関係科目の充実に向けた教学体制の検討を行うとともに、専門科目、資格免許科目の改善・充実について検討を行った。
- ・看護学部では、3 年目となった新カリキュラムを実施する中で学生からの意見聴取を行い、来年度の授業改善について検討を行った。東洋医療を導入した教育プログラムの構築を進め、ホリスティック看護学に取り組んだ。
- ・人間社会学部においては、実習教育の現状を分析検討し、事前事後指導を全ての実習に関して開講した。また、実習の手引きの改訂・作成や、実習の種類毎の実際の理解を深めるための異学年合同授業を実施した。
- ・看護学部においては、実践力強化のため実習指導者連絡会議の開催や実習の事前事後指導の充実などに取り組み、また継続して臨床教授等の称号付与を実施した。
- ・両学部連携による他の専門職と協働できる実学的専門教育科目の推進として、両学部で学ぶ専門的連携科目及び他の学部の専門分野を学ぶ実学的教育プログラムの実施を進めた。
- ・現行の e-ラーニングコースを維持しつつ、新たなコースを加えて全 119 コース開設した。また、教職員向け講習会を 2 回開催した。
- ・GPA 制度を活用したドロップアウト予防の学習支援を継続して実施した。また、成績優秀学生については、学位授与式において表彰を行った。
- ・図書館看護学部分館において、平日の開館時間延長、日曜祝日開館を実施するとともに、ラーニングコモنزの利用を開始した。
- ・自ら学び方を学ぶアクティブラーニングを取り入れ、主体的に学修し、行動できる人材を育成するため、両学部で横断的に学べる「全学横断型教育プログラム」として、「援助力養成プログラム」、「国際交流プログラム」、「キャリア形成支援プログラム」の 3 プログラムを編成した。

(2) 大学院

- ・人間社会学研究科ではカリキュラムの見直し検討を行い、3 科目を新たに開講した。心理臨床専攻においては、日本臨床心理士認定協会指定大学院第 1 種校として運営した。
- ・看護学研究科では、専門看護師コース（がん看護・精神看護）の充実に取り組むとともに、老年看護専門看護師コースの認定審査及び助産学コースの設置が承認され、平成 27 年度開設へ向けた準備を行った。

2. 沿革

昭和 20 年 4 月	福岡県立保健婦学校設置
昭和 27 年 7 月	福岡県立保育専門学院設置
昭和 27 年 9 月	福岡県立保健婦学校を福岡県立保健婦養成所に再編
昭和 29 年 4 月	福岡県立保母養成所と改称する。(県直営となる。)
昭和 37 年 4 月	福岡県立保健婦養成所を福岡県立公衆衛生看護学校と改称
昭和 42 年 4 月	県下に分散していた福岡教育大学(国立)が昭和 41 年に宗像市に統合されたことにより、同大学田川分校跡地に、上記保母養成所を発展的に解消し、福岡県社会保育短期大学(保育科、社会福祉科)を開学
昭和 46 年 4 月	福岡県立公衆衛生看護学校を福岡県立看護専門学校(看護婦科(進学課程)、保健婦・助産婦科)に再編
昭和 53 年 4 月	上記短期大学に附属幼稚園を開園
昭和 56 年 4 月	短期大学校舎の全面改築(昭和 59 年 3 月)
昭和 58 年 11 月	すずかけ寮完成(30 室)
昭和 63 年 1 月	「福岡県社会保育短期大学問題協議会」を設置。同年 12 月、同短大の四年制への移行について「社会福祉の新しい動向に対応しうる人材養成及び地域振興に資するため、新しい構想のもとに四年制大学を設置すること」との答申を発表(昭和 63 年 12 月)
平成 2 年 4 月	福岡県総務部私学学事振興局内に「四年制大学移行準備室」を設置
平成 2 年 5 月	「四年制大学移行準備委員会」を設置し、新大学の基本構想・カリキュラム・教員組織等につき検討開始
平成 3 年 6 月	文部省に対して、福岡県立大学(人間社会学部)の設置認可を申請
平成 3 年 12 月	文部省により、福岡県立大学の設置許可を受ける
平成 4 年 4 月	福岡県立大学(人間社会学部)開学
	福岡県社会保育短期大学附属幼稚園を福岡県立大学附属幼稚園に改称
平成 5 年 3 月	福岡県社会保育短期大学閉学
平成 6 年 4 月	福岡県立大学附属図書館、新築開館
平成 6 年 11 月	中国南京師範大学との学術・教育交流に関する協定の締結
平成 7 年 3 月	心理学実験棟完成
平成 8 年 2 月	中国南京師範大学と短期留学生(1 年)交流開始
平成 8 年 3 月	第 2 キャンパス(運動場)完成
平成 8 年 6 月	文部省に対し、福岡県立大学大学院(人間社会学研究科・修士課程)の設置認可を申請
平成 8 年 12 月	文部省より、福岡県立大学大学院の設置許可を受ける。
平成 9 年 4 月	福岡県立大学大学院人間社会学研究科(人間社会学研究科・修士課程)開設
平成 9 年 6 月	「福岡県看護教育高度化検討委員会」設置。同年 11 月、報告書を知事に提出
平成 9 年 12 月	「県立看護大学(学部)設立準備委員会」設置
平成 10 年 3 月	福岡県立大学附属幼稚園を廃園
平成 10 年 4 月	福岡県立大学生涯福祉研究センター(学内組織)を設置
平成 10 年 7 月	「県立看護大学(学部)設立準備委員会専門部会」設置
平成 11 年 2 月	「福岡県立大学看護学部(仮称)基本計画」策定
平成 11 年 4 月	福岡県総務部私学学事振興局内に「看護学部開設準備室」設置
平成 12 年 3 月	「福岡県立大学看護学部施設整備基本計画」策定

平成 14 年 4 月	文部科学省に対し、福岡県立大学看護学部の設置認可を申請
平成 14 年 9 月	文部科学省に対し、福岡県立大学看護学部の看護師・保健師・助産師学校指定を申請。また、養護教諭 1 種免許状授与の所要資格を得させるための課程認定を申請。
平成 14 年 12 月	文部科学省より、福岡県立大学看護学部の設置許可を受ける。
平成 14 年 12 月	アザレア寮完成(100 室)
平成 15 年 3 月	看護学部棟、講堂・管理棟、大講義室、福利厚生棟完成
平成 15 年 3 月	福岡県立看護専門学校閉校
平成 15 年 4 月	福岡県立大学看護学部開設
平成 18 年 4 月	公立大学法人福岡県立大学へ移行
平成 18 年 4 月	福岡県立大学附属研究所を設置
平成 18 年 4 月	福岡県立大学附属研究所内にヘルスプロモーション実践研究センターを設置
平成 18 年 6 月	文部科学省に対して、福岡県立大学大学院（看護学研究科・修士課程）の設置認可を申請
平成 18 年 9 月	韓国大邱韓医大学校との学術交流に関する協定の締結
平成 18 年 9 月	文部科学省に対して、福岡県立大学大学院（人間社会学研究科・修士課程）の再編届出
平成 18 年 11 月	韓国大邱韓医大学校との学生交流に関する協定の締結
平成 18 年 11 月	文部科学省が、福岡県立大学大学院（人間社会学研究科）の再編届出を受理する。
平成 18 年 11 月	文部科学省より、福岡県立大学（看護学研究科）の設置許可を受ける。
平成 19 年 4 月	福岡県立大学大学院看護学研究科（看護学研究科・修士課程）開設
平成 19 年 4 月	福岡県立大学大学院人間社会学研究科の再編
平成 19 年 9 月	福岡県立大学附属研究所内に不登校・ひきこもりサポートセンターを設置
平成 19 年 10 月	生涯福祉研究センター内に心理教育相談室を設置
平成 20 年 11 月	福岡県立大学看護実践教育センターを設置
平成 21 年 4 月	福岡県立大学生涯福祉研究センターの心理教育相談室を教育機関の実習施設に位置づけるため福岡県立大学大学院の施設に変更
平成 21 年 4 月	人間社会学部「社会学科」を「公共社会学科」へ名称変更
平成 21 年 11 月	タイ国コンケン大学との国際的な学術協力に関する覚え書きの締結
平成 21 年 11 月	北京中医薬大学との学術・教育・文化交流に関する協定の締結
平成 21 年 12 月	福岡県立大学附属研究所内に社会貢献・ボランティア支援センターを設置
平成 22 年 5 月	韓国・三育大学校との学術・教育・文化交流に関する協定の締結
平成 22 年 10 月	田川市との包括的連携に関する協定締結
平成 23 年 3 月	福岡県立大学と田川市が申請した生涯福祉研究センター管理の山本作兵衛日記・雑記帳（66 点）絵画（4 点）が日本初のユネスコ世界記憶遺産に登録
平成 23 年 7 月	看護学部編入学募集停止を決定
平成 23 年 10 月	看護学部における助産師養成課程の廃止、同課程の大学院への移行及び保健師養成課程選択制移行を決定
平成 23 年 12 月	第 1 期公立大学法人職員採用を決定
平成 24 年 3 月	附属研究所棟完成
平成 24 年 3 月	福岡県立大学創立 20 周年記念式典開催
平成 25 年 5 月	田川市郡 1 市 6 町 1 村との包括連携に関する協定締結
平成 26 年 5 月	文部科学省に対して、福岡県立大学大学院看護学研究科の課程変更（助産師課程の開設）を申請
平成 26 年 8 月	文部科学省より福岡県立大学大学院看護学研究科の課程変更（助産師課程の開設）の承認を受ける

3. 歴代学長及び名誉教授一覧

歴代学長

福岡県立大学

代	氏名	在職期間
初代	安藤 延男	平成 4 年 4 月 1 日～平成 10 年 3 月 31 日
第 2 代	保田 井 進	平成 10 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日
第 3 代	橋口 捷久	平成 14 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日

公立大学法人 福岡県立大学

代	氏名	在職期間
初代	名和田 新	平成 18 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日
第 2 代	柴田 洋三郎	平成 24 年 4 月 1 日～

名誉教授

授与番号	職名	氏名	退職年月日	称号授与日
第 1 号	教授	荒卷 正憲	平成 8 年 3 月 31 日	平成 9 年 5 月 8 日
第 2 号	教授	清水 正照	平成 9 年 3 月 31 日	平成 9 年 5 月 8 日
第 3 号	教授	中川 哲也	平成 9 年 3 月 31 日	平成 9 年 5 月 8 日
第 4 号	教授	安部 博純	平成 9 年 3 月 31 日	平成 9 年 5 月 8 日
第 5 号	学長	安藤 延男	平成 10 年 3 月 31 日	平成 10 年 6 月 11 日
第 6 号	教授	武内 勝彦	平成 10 年 3 月 31 日	平成 10 年 6 月 11 日
第 7 号	教授	阿部 洋	平成 12 年 3 月 31 日	平成 12 年 6 月 14 日
第 8 号	教授	杉田 峰康	平成 13 年 3 月 31 日	平成 13 年 5 月 30 日
第 9 号	教授	奥村 幸夫	平成 19 年 3 月 31 日	平成 20 年 4 月 4 日
第 10 号	教授	宮崎 昭夫	平成 20 年 3 月 31 日	平成 21 年 4 月 17 日
第 11 号	学長	橋口 捷久	平成 19 年 3 月 31 日	平成 22 年 4 月 21 日
第 12 号	教授	清田 勝彦	平成 22 年 3 月 31 日	平成 22 年 4 月 21 日
第 13 号	教授	西岡 健治	平成 23 年 3 月 31 日	平成 23 年 10 月 25 日
第 14 号	教授	小松 啓子	平成 26 年 3 月 31 日	平成 26 年 6 月 24 日
第 15 号	教授	久永 明	平成 26 年 3 月 31 日	平成 26 年 6 月 24 日
第 16 号	教授	古橋 啓介	平成 26 年 3 月 31 日	平成 26 年 6 月 24 日
第 17 号	教授	茂木 豊	平成 26 年 3 月 31 日	平成 26 年 6 月 24 日

4. 学年歴

平成 26 年度 学部学年暦

前 期

2014 (平成 26) 年

4月 1日(火)	前期始まり
4月 7日(月)	入 学 式
4月 7日(月)・8日(火) 9日(水)	学生定期健康診断
4月 8日(火)・9日(水)	オリエンテーション
4月 10日(木)～11日(金)	新入生合宿フォーラム
4月 10日(木)	前期履修登録締切日 (新入生を除く)
4月 14日(月)	前期授業開始
4月 15日(火)	前期履修登録締切日(新生)
4月 18日(金)	前期履修登録修正締切日
4月 26日(土)	補講日
5月 10日(土)	開学記念日
5月 10日(土)	補講日
5月 24日(土)	補講日
6月 14日(土)	補講日
6月 16日(月)～20日(金)	前期履修登録取消期間
6月 28日(土)	補講日
6月 30日(月) ～7月 4日(金)	基礎看護学実習 I (看護学部 1 年生)
7月 12日(土)	補講日
7月 26日(土)	補講日
7月 31日(木)	前期通常授業終了
8月 1日(金)	特別補講日
8月 4日(月) ～8月 8日(金)	前期試験期間
8月 9日(土) ～9月 30日(火)	夏季休業
8月 9日(土)	オープンキャンパス
8月 18日(月)～22日(金)	集中講義第 1 週
8月 20日(水)	成績掲示(合否のみ)
8月 20日(水) ～8月 22日(金)	再試験提出期間
8月 25日(月) ～8月 29日(金)	集中講義第 2 週
9月 1日(月)～12日(金)	基礎看護学実習 II (前年グループ) (看護学部 2 年生)
9月 16日(火)	看護実習開始 (3 年生)
9月 18日(木)	前期成績表交付
9月 18日(木)～22日(月)	成績質問期間
9月 30日(火)	後期履修登録締切日
9月 30日(火)	前期終了

後 期

10月 1日(水)	後期始まり
10月 1日(水)	後期授業開始
10月 7日(火)	後期履修登録修正締切日
10月 11日(土)	補講日
10月 14日(火) ～10月 24日(金)	基礎看護学実習 II (後半グループ) (看護学部 2 年生)
10月 25日(土)	補講日
11月 7日(金)	全学休講
11月 8日(土)～9日(日)	大学祭
11月 15日(土)	補講日
11月 22日(土)	推薦入試
11月 29日(土)	補講日
12月 8日(月)～12日(金)	後期履修登録取消期間
12月 13日(土)	補講日
12月 22日(月)	社会福祉学科卒論提出日
12月 22日(月)	看護学部卒研提出日
12月 23日(火)～1月4日(日)	冬季休業
2015 (平成 27) 年	
1月 5日(月)	授業再開
1月 10日(土)	補講日
1月 16日(金)	全学休講
1月 17日(土)～18日(日)	センター試験
1月 20日(火)	公共社会学科卒論提出日
1月 20日(火)	人間形成学科卒論提出日
1月 24日(土)	補講日
2月 3日(火)	人間社会学部卒論発表会
2月 4日(水)	後期通常授業終了
2月 5日(木)	特別補講日
2月 6日(金)～13日(金)	後期試験期間
2月 16日(月)～20日(金)	後期集中講義
2月 23日(月)	卒業予定者成績掲示日 (合否のみ)
2月 25日(水)	一般入試前期日程
2月 26日(木)	卒業予定者成績表交付
2月 26日(木)～27日(金)	卒業予定者成績質問期間
2月 27日(金)	看護実習終了 (3 年生)
3月 2日(月)	在学生成績掲示日(合否のみ)
3月 2日(月)～4日(水)	再試験提出期間(在学生)
3月 12日(木)	一般入試後期日程
3月 19日(木)	卒 業 式
3月 24日(火)	在学生後期成績表交付
3月 24日(火)～26日(木)	在学生成績質問期間
3月 31日(火)	後期終了

平成 26 年度 大学院学年暦

前期

2014(平成 26)年

4月7日(月)	入学式・オリエンテーション・健康診断(1年生・看護学研究科2年生)
4月9日(水)	健康診断 (人間社会学研究科2年生)
4月14日(月)	前期授業開始
4月18日(金)	研究指導教員届」提出期限 (看護学研究科)
4月23日(水)	「研究指導教員届」提出期限(人間社会学研究科)
4月25日(金)	前期履修登録締切
5月23日(金)	「修士論文題目届」提出期限(看護学研究科)
5月下旬	研究計画発表会(看護学研究科)
6月6日(金)	「研究計画書」提出期限 (看護学研究科)
6月16日(水)~20日(金)	前期履修登録取消日
6月20日(金)	「修士論文題目届」提出期限 (人間社会学研究科)
6月30日(月)	研究計画書(最終版)提出期限 (看護学研究科)
6月30日(月)	秋季修了予定者修士論文提出 期限
7月6日(月)~15日(水)	同修士論文口頭試問 (看護学研究科)
7月9日(水)	修士論文中間発表 (人間社会学研究科)
7月23日(水)	秋季修了予定者修士論文再提 出期限(看護学研究科)
7月31日(木)	前期通常授業終了日
8月9日(土) ~9月30日(月)	夏季休業
8月9日(土)	オープンキャンパス
8月18日(月)~22日(金)	集中講義第一週
8月25日(月)~29日(金)	集中講義第二週
9月10日(水)	秋季修了判定会議
9月18日(木)	前期成績表交付
9月18日(木)~22日(月)	成績質問期間
9月下旬	秋季修了大学院 修士学位記授与式
9月30日(火)	後期履修登録締切

後期

10月1日(水)	後期授業開始
10月4日(土)	(糖尿病看護認定看護師入学試 験)
10月7日(火)	後期履修登録修正締切
10月18日(土)	大学院秋季入学試験
11月8日(土)	秋のオープンキャンパス
11月8日(土)~9日(日)	大学祭
11月22日(土)	(大学;推薦・転編入・社会人・国 外就学経験者入学試験)
12月8日(月)~12日(金)	後期履修登録取消日
12月23日(月) ~1月4日(日)	冬季休業
2015(平成 27)年	
1月5日(月)	授業再開
1月14日(水)	修士論文提出期限 (人間社会学研究科)
1月15日(木)	修士論文提出期限 (看護学研究科)
1月17日(土)~18日(日)	(大学入試センター試験)
1月下旬~2月中旬	修士論文口頭試問(看護学研究 科)
1月28日(水)	修士論文口述試験 (人間社会学研究科)
2月4日(水)	後期通常授業終了
2月7日(土)	大学院春季入学試験
2月10日(火)	修士論文発表会 (人間社会学研究科)
2月13日(金)	修士論文再提出期限 (看護学研究科)
2月16日(月)~20日(金)	後期集中講義
2月25日(水)	(一般入学試験 前期日程)
2月25日(水)	修了判定会議
2月26日(木)	修了予定者成績表交付
2月26日(木)~27日(金)	修了予定者成績質問期間
3月2日(月)	修士論文発表会 (看護学研究科)
3月12日(木)	(一般入学試験 後期日程)
3月19日(木)	大学院第17回修士学位記授与 式(大学第20回卒業式)
3月24日(火)	在学生後期成績表交付
3月24日(火)~26日(木)	在校生成績質問期間

福岡県立大学 アニュアルレポート

平成 27 年 9 月 30 日 印刷

平成 27 年 9 月 30 日 発行

編 集 福岡県立大学 自己点検評価室

発 行 福岡県立大学

〒825-8585 福岡県田川市大字伊田 4395 番地

TEL (0947)42-2118 FAX (0947)42-6171

URL <http://www.fukuoka-pu.ac.jp>

